

令和2年度(2020年度)
第73回岩手芸術祭記録集



第73回岩手芸術祭実行委員会

< 目 次 >

1	総合フェスティバル	1
2	美術展	2
3	巡回美術展	2
4	小・中学校美術展	3
5	巡回小・中学校美術展	3
6	舞台等部門(演劇・伝統芸能・音楽・舞踊・演芸)／出演者公募	3
7	県民文芸作品集	5
8	文芸祭	5
9	移動公演	6
10	テーマ募集	6
11	アートフェスタいわて2020 -岩手芸術祭受賞作品・推薦作家展＋岩手県美術選奨受賞者作品展-	6
12	受賞者一覧 (美術展、小・中学校美術展、県民文芸作品集、文芸祭)	7
13	審査員・選者等一覧(美術部門、舞台等部門、文芸部門)	12
14	実行委員会委員一覧	16
15	開催状況一覧	18
16	市町村別応募作品数一覧(美術、県民文芸作品集)	20
17	収支予算書(最終予算)	22
18	芸術祭賞受賞作品(美術展、小・中学校美術展)	23
19	ポスター等 (公募ポスター、総合ポスター、美術展ポスター、県民文芸作品集装丁デザイン)	27
20	付録	
	(1) 開催要綱	30
	(2) 実行委員会会則	32
	(3) 運営組織	34
	(4) 美術部門実行委員会運営規程	35
	(5) 実行委員会感謝状贈呈に関する規程・選考基準	36
	(6) 協賛事業の名義の使用承認事務手続要領	38
	(7) 美術展公募要項	42
	(8) 県民文芸作品集第51集公募要項	46
	(9) 文芸祭開催要項	47
	(10) ピアノ演奏会出演者公募要項	48
	(11) 小・中学校美術展作品募集要項	49

1 総合フェスティバル

(1) 【盛岡開催】

1 開催日	令和2年10月3日(土)
2 会場	岩手県民会館／大ホール
3 鑑賞者数	1,501 人 (県民898人、TETTO50人、Zホール100人、シビックホール78人、スマホアクセス375人)
4 内容等	テーマ／「疫病退散」 <第1部 祈り> ○毛越寺厄災消除祈願(映像)○滑田鬼剣舞○「モダンダンス」金田尚子舞踊研究所○「クラシックバレエ」村上弘子 <第2部 笑い> ○「東北弁落語」六華亭遊花○「漫才」アンダーエイジ ○式典「感謝のセレモニー」(功労者表彰参照) <第3部 協力> ○「フラッグダンス&アクロパフォーマンス」arbre・新☆男塾○「合唱」不来方高校(市民文化ホールから中継)○「弦楽演奏」いわてフィルジュニア選抜○「合唱イーハトーヴとっておきの音楽祭」あんべ光俊(中継)○「さんさ踊り」さんさ華の連○フィナーレ「いわて文化芸術創造宣言」「オハイエ」
5 功労者表彰	美術部門…… 舞田信也(洋画)・堀内青巒(書道)・星岩男(写真)・デザイン(蛇口禎治) 舞台等部门… 山口浩子(合唱)・新田順子(声楽)・船越喜実乃(三曲)・水木歌女羽(日舞)・藤原めい子(洋舞)・福田キヌエ(民謡)・愛扇好利(新舞踊) 文芸部門…… 野中康行(随筆)・小野寺政賢(短歌)・佐々木昌子(俳句)・塩釜アツシ(川柳)
6 その他	(関連事業)第4回芸術体験イベント 10月3日(土)・4日(日)に盛岡市肴町アーケード、プラザおでって広場及び岩手県民会館を会場にストリートピアノ、妖怪イラストの展示、楽器体験、短歌添削など様々な体験イベントを開催した。また、10月29日(木)・30日(金)には展示室において日本画・版画・水墨画の体験コーナーを設けた。4日間の参加者は延べ3,927人であった。

(2) 【地域開催】

長い歴史を持つ岩手芸術祭の開催内容を拡充し、地域における鑑賞機会の提供や地域の文化催事と連携したフェスティバルを開催した。

1 開催日	令和3年1月22日(金)～24日(日)
2 会場	一関文化センター
3 鑑賞者数	1,155 人 (大ホール596人、YouTube視聴559人)
4 内容等	令和3年1月24日(日) ○毛越寺の延年○二子鬼剣舞○金田尚子舞踊○佐藤彦大ピアノ○フラッグダンス arbre・新☆男塾○達古袋神楽○コスモス舞踊研究所○すもも会○華ダンスカンパニー○民謡徳声会○岡本梨奈フルーツ○一関合唱連合会○フィナーレ【入場無料】 令和3年1月22日(金)～24日(日) ○巡回美術展

2 美術展

岩手県内在住者及び県出身者等の作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を展示した。

(1) 作品搬入・受付・審査

日 程		作品審査	点数	
作品搬入・受付	9月12日(土)	岩手県民会館	応募点数	799点
作品審査	9月13日(日)		入賞・入選作品数	765点

(2) 美術展会期・会場

会 期		展示種目	会 場	鑑賞者数	展示点数
第1期	10月29日(木)～11月1日(日)	写 真 デ ザ イン 現 代 美 術	岩手県民会館 展示室	4,222人	入賞・入選 765点 審査員等 60点
第2期	10月3日(土)～6日(火)	洋 画 彫 刻			
第3期	10月15日(木)～18日(日)	工 芸 書 道			
第4期	10月22日(木)～25日(日)	日 本 画 版 画 水 墨 画			計 825点

(3) 表彰式

11月21日(土)サンセール盛岡で芸術祭賞、優秀賞、奨励賞受賞者の表彰式を行った。

3 巡回美術展

美術展の上位入賞作品77点を県内7市町で巡回展示した。(計20日間・7会場)

会期	会場	出展作品数				
11月11日(水)～15日(日)	奥州市文化会館	日 本 画	7点	洋 画	8点	
11月17日(火)～19日(木)	一戸町コミュニティセンター	版 画	8点	彫 刻	6点	
11月21日(土)～22日(日)	岩泉町民会館	工 芸	8点	書 道	8点	
11月28日(土)～29日(日)	久慈市文化会館	写 真	8点	デ ザ イン	8点	
12月1日(火)～3日(木)	山田町中央公民館	現 代 美 術	8点	水 墨 画	8点	
12月16日(水)～17日(木)	宮古市民文化会館				計	77点
R3.1月22日(金)～24日(日)	一関文化センター	鑑賞者数	1,547人			

4 小・中学校美術展

県内小学生の書写・絵画作品及び中学生の書道・美術作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を展示した。

(1) 応募状況及び入賞者等

	小学校絵画	小学校書写	中学校美術	中学校書写	合計
応募点数	3,808点	1,743点	471点	1,017点	7,039点
応募学校数	51校	72校	15校	40校	178校
入賞者数	42点	39点	8点	10点	99点
入選者数	420人	496人	111人	206人	1,233人
入選のうち巡回展出品数	36点	96点	15点	77点	224点

(2) 小・中学校美術展会期・会場

会期	会場	鑑賞者数	展示点数
12月4日(金)～6日(日)	岩手県民会館展示室	2,361人	1,332点

5 巡回小・中学校美術展

小・中学校美術展におけるすべての入賞作品と入選作品の中から巡回用に選定した作品を、県内各地で巡回展示した。

会期	会場	入場者	展示点数	
1月30日(土)～31日(日)	宮古市民文化会館展示室	654人	小学校絵画	78点
2月10日(水)～11日(木・祝)	九戸村公民館		小学校書写	135点
2月20日(土)～21日(日)	久慈市文化会館		中学校美術	23点
			中学校書写	87点
			計	323点

6 舞台等部門

事業名	開催日	実施団体	会場	鑑賞者数
演劇	盛岡地区	11月27日(金)～29日(日)	岩手県演劇協会(ボーイズドレッシング)	風のスタジオ 145人
	県南地区	中止	岩手県演劇協会(ぶどう座)	—
	沿岸地区	R3.2月28日(日)	岩手県演劇協会(劇団もしょこむ)	根浜レストハウス(釜石市) 50人
	県北地区	12月27日(日)	岩手県演劇協会(二戸演劇協会The雲人)	二戸市民文化会館大ホール 130人
	市町村民劇場	R3.2月28日(日)	岩手県演劇協会(一関藤沢市民劇)	縄文ホール 124人
	映像フェスティバル	11月8日(日)	岩手県演劇協会	もりおか町家物語館 浜藤ホール 115人

事業名	開催日	実施団体	会場	鑑賞者数
華道展	中止	岩手華道協会		—
茶会	中止	岩手県茶道協会		—
吟詠剣詩舞道祭	中止	岩手県吟詠剣詩舞道総連盟		—
謡と仕舞の会	11月1日(日)	岩手県能楽連合会	岩手県民会館 大ホール	140人
邦楽のつどい	中止	岩手邦楽協会		—
ソロと室内楽の調べ	中止	岩手県弦楽研究会		—
ピアノ演奏会	10月24日(土)	岩手県ピアノ音楽協会	岩手県民会館 中ホール	200人
三曲演奏会	10月25日(日)	岩手三曲協会	岩手県民会館 大ホール	210人
声楽部門演奏会	中止	岩手声楽研究会		—
ギター音楽の夕べ	11月7日(土)	岩手県ギター協会	岩手県民会館 中ホール	172人
吹奏楽演奏会	中止	岩手県吹奏楽連盟		—
合唱祭	12月6日(日)	岩手県合唱連盟	岩手県民会館 大ホール	—
管弦楽フェスティバル	11月28日(土)	岩手県管弦楽連盟	田園ホール	69人
洋舞公演	10月18日(日)	岩手県洋舞協会	岩手県民会館 大ホール	300人
日本舞踊公演	中止	岩手県邦舞協会		—
新舞踊発表会	中止	岩手県新舞踊協会		—
岩手民謡まつり	11月1日(日)	岩手県民謡協会	岩手県民会館 大ホール	687人
			計	2,342人

【出演者公募】

- (1) 声楽演奏会 0人(事業中止のため)
(2) ピアノ演奏会 19人

7 県民文芸作品集

岩手県内在住者及び県出身者等から、小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳の9種目の作品を公募し、作品審査を経て、入賞・入選作品を決定した。

入賞作品及び入選作品の一部を掲載した県民文芸作品集第51集を刊行した。

(1) 応募作品・受賞点数及び掲載作品数

応募作品数	掲載点数	受賞点数	刊行日
438点	115点	芸術祭賞 6点	12月12日(土)
		優秀賞 9点	
		奨励賞 17点	

(2) 表彰式

12月12日(土)サンセール盛岡で芸術祭賞、優秀賞、奨励賞32名に対して表彰式を行った。

8 文芸祭

部門	開催日/会場	内容	参加者数
小説	10月18日(日)	小説大会 県民文芸作品集の講評	15人
	岩手県民会館会議室		
戯曲	R3.1月16日(土)	短編戯曲講座 「みんな、どうやって脚本書いてる？」 講師 嵯峨瞳	16人
	盛岡劇場タウンホール		
文芸評論	10月11日(日)	文芸評論大会 小講演と研究発表 講演「宮沢賢治とパンデミック」講師 牛崎 敏哉 〃 「宗教から見る啄木・賢治」講師 望月 善次 〃 「応募文芸評論の周辺」講師 赤崎 学	9人
	盛岡市上田公民館		
随筆	11月7日(土)	随筆大会 県民文芸作品集の講評	17人
	岩手県民会館会議室		
児童文学	10月25日(日)	児童文学大会 ①県民文芸作品集応募作品の選評 ②合評会	11人
	やはば一く大研修室		
詩	R3.1月31日(日)	詩の大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか	20人
	北上市生涯学習センター		
短歌	10月10日(土)	短歌大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞	92人
	盛岡市勤労福祉会館		
俳句	10月17日(土)	俳句大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、各選者賞	66人
	盛岡市勤労福祉会館		
川柳	10月24日(土)	川柳大会 表彰 文芸祭賞、優秀賞、奨励賞ほか	52人
	アイーナ 501号		
計			298人

9 移動公演

開催地	種目	開催日	出演団体	会場	鑑賞者数
奥州市	新舞踊	中止	岩手県新舞踊協会		—
一戸町	弦楽	12月5日(土)	岩手県弦楽研究会	一戸町コミュニティセンター	74人
計					74人

10 テーマ募集

応募期間	令和2年 4月～ 5月31日		
応募総数	297点	応募者数	124人
選定方法	事務局にて絞った21点に対して選定委員が採点したものの上位から、会長が優秀作1点、佳作4点を最終決定した。		
選定委員	高橋嘉行(県文振理事長)・山崎 隆(県文振事務局長)・岡部春美(県文化振興課総括課長)		
表彰	10月5日(土)の開幕式典において優秀作作者を表彰		

【優秀作】 岩手芸術祭テーマ

「芸術がつなぐ みんなの心 この手で創る 未来の岩手」 伊東 健大さん(盛岡市)

【佳作】

「芸術で刻もう残そう 豊かな文化」 吹田 桃恵(奥州市)

「絶やすまい 芸術の炎 岩手から」 小田島 遥(盛岡市)

「時は来た 岩手の風を背に受けて とともに創ろう 芸術の標」 佐藤 良香(花巻市)

「咲かせよう 岩手の大地に 夢と希望の芸術の花」 西川 政勝(盛岡市)

11 『アートフェスタいわて2020

—岩手芸術祭受賞作品・推薦作家展＋岩手県美術選奨受賞者作品展—

(岩手県立美術館・岩手芸術祭実行委員会共催事業)

岩手芸術祭美術展の三賞及び美術展各部門から推薦された作家の作品100点と岩手県美術選奨受賞作家の作品をあわせて公開する企画展を実施。

会 期	2月27日(土)～3月21日(日)		出品点数			
会 場	岩手県立美術館		日 本 画	7点	洋 画	17点
鑑 賞 者 数	3,010人		版 画	7点	彫 刻	7点
ギャラリー ト ー ク	2月28日(日)	彫刻・日本画・工芸	工 芸	9点	書 道	17点
	3月6日(土)	版画・洋画	写 真	12点	デザイン	7点
	3月7日(日)	書道・水墨画	現代美術	6点	水 墨 画	11点
	3月13日(土)	デザイン・写真・現代美術	計		100点	

12 第73回岩手芸術祭受賞者一覧

【美術展】

種目	賞名	作品名	氏名	居住地
日本画	芸術祭賞	よろい	佐々木 菜摘	盛岡市
	優秀賞	秋を彩る	村上 和広	一関市
	奨励賞	夢	花立 ゆかり	矢巾町
	奨励賞	朝霧の中に	藤原 妙子	矢巾町
洋画	芸術祭賞	豊穰	菊地 仁美	北上市
	優秀賞	来る	金井 保憲	矢巾町
	奨励賞	線量計が鳴る	金澤 隆二	茨城県
	奨励賞	UTAGE	高橋 邦法	紫波町
版画	芸術祭賞	滾	鈴木 和雄	矢巾町
	優秀賞	時の流れ	源新 和子	盛岡市
	奨励賞	自生	浅沼 珠央	奥州市
	奨励賞	痛い記憶	渡辺 万里	盛岡市
彫刻	芸術祭賞	女性頭像2020	黒沼 加津己	盛岡市
	優秀賞	M翁	遠藤 守夫	奥州市
	奨励賞	トルソ I 2020	兒玉 智江	北上市
	奨励賞	birth —2020—	井川 ゆきな	盛岡市
工芸	芸術祭賞	in the quiet world	平野 英史	盛岡市
	優秀賞	パンセ キのう見た夢	菅川 恵梨	紫波町
	奨励賞	黄昏	青柳 ひで子	一関市
	奨励賞	月の道、星の道	昆野 明栄	遠野市
書道	芸術祭賞	郭鈺詩	熊谷 碓斗	盛岡市
	優秀賞	白楽天詩四首	小野寺 七海	盛岡市
	奨励賞	太平記より	福井 豊亥	盛岡市
	奨励賞	山家集より	大友 沙月	盛岡市
写真	芸術祭賞	妖精たちの午後	谷村 あづさ	盛岡市
	優秀賞	夢の中	吉田 稔	紫波町
	奨励賞	2020	千葉 敏幸	滝沢市
	奨励賞	かざぐるま	山田 恵子	盛岡市
デザイン	芸術祭賞	百鬼昼行妖快乃図 猫又 百鬼昼行妖快乃図 鞍馬天狗	佐々木海太郎	盛岡市
	優秀賞	手仕事 再考 手仕事 風物詩	川村 亮二	矢巾町
	奨励賞	Serenade	石川 芙月	盛岡市
	奨励賞	透明なアオイ鳥	加村 なつえ	盛岡市
現代美術	芸術祭賞	antenna	木村 麻希	宮古市
	優秀賞	ホワイトホール(こころの在処)No.1	遠藤 昭子	北上市
	奨励賞	私のマスクを作らなきゃ	渡邊 若子	花巻市
	奨励賞	journal 2020-days	清武 佳世	盛岡市
水墨画	芸術祭賞	茅葺きの民家	千葉 勝歳	盛岡市
	優秀賞	北山崎	小野寺不二子	一関市
	奨励賞	柳下白鷺	久慈 悦子	盛岡市
	奨励賞	冬晨橋脚	近江 力	盛岡市

【小・中学校美術展】

1 小学校

	小学校絵画部門		小学校書写部門	
芸術祭賞	吉田 初乃	山岸小1	柳谷 歩希	鵜飼小2
	熊谷 理穂	城北小3	柳谷 祐希	鵜飼小4
	堀 江 結	桜城小6	柳谷 咲希	鵜飼小6
優秀賞	長内 柊也	北厨川小1	菊池 実緒	山岸小1
	齊藤 茉生	鵜飼小1	菊地 結空	向中野小1
	八森 穂希	角浜小1	佐藤 開	岩大附属小1
	村井 志成	盛岡・中野小2	堀越 りんか	山岸小2
	高橋 直翔	緑が丘小2	鈴木 ゆうな	北厨川小2
	伊藤 優良	江釣子小2	熊谷 紗和	鵜飼小2
	永瀬 瑛侍	仙北小3	三浦 そあら	青山小3
	藤野 日菜	仙北小3	菊地 心唯	向中野小3
	高橋 悠人	新堀小3	皆川 莉子	亀岳小3
	荒井 彩	北厨川小4	伊藤 心結	向中野小4
	星 紗綾	上田小4	古舘 杏梨	岩大附属小4
	大平 ひかる	花巻小4	耕野 玲奈	鵜飼小4
	高橋 琳聖	仁王小5	田澤 佳歩	向中野小5
	小原 紬	江釣子小5	渡辺 菜月	岩大附属小5
	高橋 琥太郎	江釣子小5	佐藤 翔一	岩大附属小5
	小野寺 ちひろ	厨川小6	森本 理央	高松小6
中澤 妃奈	津志田小6	瀬川 ちひろ	城北小6	
小野寺 健太	水沢南小6	玉井 瞭平	滝沢東小6	
奨励賞	小川 桜介	山岸小1	宮城 理愛	仙北小1
	畠山 茉莉	盛岡・中野小1	笹川 萌維	岩大附属小1
	山本 悠奈	北厨川小1	谷藤 希穂	鵜飼小1
	田村 凜果	盛岡・土淵小2	下斗米 結奈	山王小2
	佐井 奏太	盛岡・土淵小2	田中 結音	向中野小2
	高橋 龍正	上田小2	大坪 世理亜	鵜飼小2
	佐々木 翔斗	山王小2	今 碧羽	渋民小3
	工藤 堅心	盛岡・土淵小3	伊五澤 殊那	渋民小3
	中野 光慶	大新小3	井上 瞭悟	滝沢小3
	渡邊 詩織	江釣子小3	森本 理沙	高松小4
	小野寺 彩絵	城北小4	豊巻 千里	岩大附属小4
	工藤 咲良	巻堀小4	中 篤花	奥中山小4
	小林 歩生	千徳小4	北澤 杏奈	向中野小5
	澤村 透吾	種市小4	大村 優奈	花輪小5

	小学校絵画部門		小学校書写部門	
奨励賞	高橋 桜姫羽	厨川 小5	福士 結衣	沼宮内小5
	佐藤 舞	上田 小5	伊山 愛華	向中野小6
	波紫 優奈	篠木 小5	中嶋 静菜	津軽石小6
	森 愛恵	篠木 小5	三浦 愛叶	一方井小6
	須田 理央	桜城 小6		
	船越 爽汰	大新 小6		
	猪又 葵路那	平田 小6		

2 中学校

	美 術	
芸術祭賞	大澤 帆奈美	岩大附属中2
	菅原 花蓮	城西中3
優秀賞	日向 彩乃	岩大附属中1
	三谷 朋加	岩大附属中2
	丸山 泉	雫石中3
奨励賞	菊池 海麗	下橋中1
	中條 孝介	下橋中2
	田高 穂里	下橋中3

	書 写			
	毛筆条幅入賞		毛筆半紙入賞	
芸術祭賞	小原 日菜	岩大附属中3	藤原 蘭	乙部中3
優秀賞	岡田 夢羽	津軽石中1	渡辺 果歩	岩大附属中1
	大津 里佳子	下小路中3	遠藤 美佑	福岡中2
奨励賞	柿崎 千歳	滝沢南中2	古舘 歩奈	岩大附属中1
	大平 琳	滝沢中3	山本 紗菜	下小路中3

【ピアノ】 審査なし

	氏 名	居 住 地
芸術祭賞		
審査員特別賞		

【県民文芸作品集】

種 目	賞 名	作 品 名	氏 名	居住地
小説	芸 術 祭 賞	該当作なし	—	
	優 秀 賞	本体	東 野 正	盛岡市
	奨 励 賞	命のしづく	久 保 協 一	盛岡市
	奨 励 賞	繭籠り	古 川 寛 子	紫波町
戯曲・シナリオ	芸 術 祭 賞	該当作なし	—	
	優 秀 賞	秒速340mの銀河鉄道	村 田 青 葉	盛岡市
	奨 励 賞	在り処	山 口 健 志	神奈川県
文芸評論	芸 術 祭 賞	該当作なし	—	
	優 秀 賞	名辞的な「かなしみ」の奥に—中原中也と小林秀雄—	内 藤 賢 一	盛岡市
	奨 励 賞	宮澤賢治の「稲作と石灰」について	鈴 木 守	花巻市
	奨 励 賞	母と父の翳—遠藤周作『影に対して』考察—	高 橋 周 芳	盛岡市
随筆	芸 術 祭 賞	タイムカプセル	佐々木悠紀子	盛岡市
	優 秀 賞	ピンク色コンプレックス	山 影 春 香	花巻市
	奨 励 賞	4時37分56秒	内 藤 賢 一	盛岡市
	奨 励 賞	自宅寿司店	昆 秀 一	矢巾町
児童文学	芸 術 祭 賞	鬼はここ！	中 村 祥 子	大船渡市
	優 秀 賞	金色のねずみ	汐 見 遥	久慈市
	奨 励 賞	チーリーはどこへ	今 和 立	岩手町
	奨 励 賞	ぼくたちの縄文ファンタジー	小田代眞樹子	宮古市
詩	芸 術 祭 賞	ゼリーフィッシュ	藍 沢 篠	滝沢市
	優 秀 賞	手練り 続けた	横 澤 和 司	宮城県
	奨 励 賞	停止	姉 帯 凜 音	二戸市
	奨 励 賞	晩夏と初秋	白 石 松 則	大船渡市
短歌	芸 術 祭 賞	牛飼のうた	山 内 義 廣	岩泉町
	優 秀 賞	音なき空	星 野 花 歩	花巻市
	奨 励 賞	短歌甲子園	相 原 れ い な	盛岡市
	奨 励 賞	夏	佐 藤 愛 莉	盛岡市
俳句	芸 術 祭 賞	達谷忌	岩 渕 洋 子	平泉町
	優 秀 賞	星月夜	後 藤 冴 子	花巻市
	奨 励 賞	奥の正法寺	兼 平 玲 子	盛岡市
	奨 励 賞	稲の花	高 橋 和 枝	花巻市
川柳	芸 術 祭 賞	雑詠	伊 藤 豊 志	宮古市
	優 秀 賞	雑詠	中 野 裕 子	洋野町
	奨 励 賞	雑詠	河 野 康 夫	盛岡市
	奨 励 賞	雑詠	野 口 一 滴	洋野町

【文芸祭】

部門	賞名	作品名等	氏名	居住地
詩	文芸祭賞	コアントロー	ルディア・ひろこ	花巻市
	優秀賞	落下点	藍沢 篠	滝沢市
	奨励賞	のっぺらぼう	カニサワサヨコ	花巻市
短歌	文芸祭賞	生真面目に踏み台のりて手を洗ふ幼は水と戯るること	工藤由美子	盛岡市
	優秀賞	癌を病み逝きたる友が送り来しあまたのメール消しがたくをり	山本 豊	盛岡市
	奨励賞	もしかして私が怒つてゐる人は神かもしれぬ認知症の夫	下又 治代	二戸市
	選者賞 (岡田絢子選)	蕎麦畑の自在な揺らぎ羨しみて続く炎暑にひたすら耐ふる	上野 和子	盛岡市
	(菊池哲也選)	亡き妻といこひし庭に立つわれを知らぬふりして舞ひゐるアゲハ	遠藤 吉光	盛岡市
	(山内義廣選)	梅雨の朝鳴らす仏壇の鉦の音に潤ひのあり子の忌近づく	八重嶋 勲	紫波町
	(山口明子選)	授業終へ帰りし夫の物を問ふごとき鴉の声する夕べ	鎌田 昌子	盛岡市
(吉田史子選)	「戻る」キー三、四度打ちて告げざりし言葉かの日に挿入せむを	花石 公夫	大槌町	
俳句	文芸祭賞	稲架ぐる遊びに空の広さかな	五日市明子	盛岡市
	優秀賞	助つ人は分校仲間蕎麦を刈る	和田 タケ	盛岡市
	奨励賞	進むほど風若返る松手入	伊藤 文明	盛岡市
	選者賞 (白濱一羊選)	小鳥来る帯のきまらぬ若女将	佐藤 明彦	盛岡市
	(小畑柚流選)	頃合ひの程よく落ちる栗拾ひ	佐々木 充	盛岡市
	(小林輝子選)	野分去るダムは芥を抱き止めて	下田 榮一	北上市
	(名久井清流選)	二人して以下省略のどろろ汁	澤藤 はなの	盛岡市
	(加藤真治子選)	秋天を羽織り花嫁降りて来る	榊原 康二	盛岡市
(北田祥子選)	運動会ゴールで交はず肘タッチ	木関 偕楽	盛岡市	
川柳	文芸祭賞	生かされて噛む避難所の握り飯	小原 金吾	盛岡市
	優秀賞	合掌の指がわたしを温める	熊谷 岳朗	紫波町
	奨励賞	無償の愛母の器に底がない	野口 一滴	洋野町
	特選 (菅原千瑛選)	合掌の指がわたしを温める	熊谷 岳朗	紫波町
	(鷹黄閣雄選)	人間の証よ一滴の涙	熊谷 岳朗	紫波町
	(富岡敦子選)	無償の愛母の器に底がない	野口 一滴	洋野町
	(河野康夫選)	DNA生命の謎の鍵を秘め	中里 陽子	盛岡市
	(佐藤 康選)	生かされて噛む避難所の握り飯	小原 金吾	盛岡市
	(小原金吾選)	明日は咲く咲くと信じて風に耐え	熊谷 岳朗	紫波町
	(熊谷岳朗選)	現在も過去も未来もみな自分	阿部 健一	紫波町

13 第73回岩手芸術祭審査員・選者等一覧

【美術部門審査員】

種 目	氏 名	所 属 等
日 本 画	西 川 善 有	岩手県日本画協会会長
	片 山 道 子	岩手県日本画協会理事
洋 画	大 矢 忠 信	洋画部門理事
	小 野 寺 豊 喜	洋画部門理事
	菊 池 健 次	洋画部門理事
	菊 池 政 時	洋画部門理事
	熊 谷 行 子	洋画部門理事
	齋 藤 千 香 子	洋画部門理事
	佐々木 千 治	洋画部門理事
	佐々木 忠 和	洋画部門理事
	佐 藤 純	洋画部門理事
	白 藤 茂	洋画部門理事
	菅 田 篤	洋画部門理事
版 画	阿 部 陽 子	版画家
	田 村 晴 樹	画家
彫 刻	藤 島 明 範	彫刻家
工 芸	三 田 村 有 純	日展理事
	菊 池 房 江	岩手工芸美術協会会長
書 道	吉 田 晨 風	岩手書道協会会長
	野 田 杏 苑	岩手書道協会副会長
	堀 内 青 巒	岩手書道協会副会長
	佐々木 飛 鴻	岩手書道協会理事
	佐 竹 松 濤	岩手書道協会理事
	松 戸 亮 濤	岩手書道協会理事
丸 若 敬 葉	岩手書道協会理事	
写 真	佐々木 秀 人	(株)日本カメラ社 日本カメラ編集長
デ ザ イ ン	本 村 健 太	岩手大学人文社会科学部教授
	竹 村 育 貴	岩手デザイナー協会会長
現 代 美 術	佐 藤 時 啓	東京藝術大学美術学部教授
水 墨 画	鈴 木 孝 男	岩手県水墨画協会会長
	岸 本 カ ヨ 子	岩手県水墨画協会副会長
	菊 池 一 政	岩手県水墨画協会副会長
	阿 部 慶 造	岩手県水墨画協会副会長
	工 藤 晴 男	岩手県水墨画協会副会長

【舞台等部門審査員】

種 目	氏 名	所 属 等
ピ ア ノ		
(審 査 な し)		

【文芸部門選者】

県民文芸作品集	
小 説	立 川 ゆ かり
	小 原 守 夫
戯曲・シナリオ	昆 明 男
	落 合 昭 彦
文 芸 評 論	牛 崎 敏 哉
	赤 崎 学
随 筆	須 藤 宏 明
	野 中 康 行
児 童 文 学	千 葉 留 里 子
	藤 原 成 子
詩	花 石 邦 夫
	糠 塚 玲
	東 野 正
短 歌	赤 澤 篤 司
	折 居 路 子
	清 水 亞 彦
	藤 井 永 子
	藤 村 孝 一
俳 句	白 濱 一 羊
	小 畑 柚 流
	小 林 輝 子
	名 久 井 清 流
	加 藤 眞 治 子
	北 田 祥 子
川 柳	佐 藤 岳 俊
	柳 清 水 広 作
	あ べ 和 香

文 芸 祭	
詩	花 石 邦 夫
	糠 塚 玲
	東 野 正
短 歌	稲 垣 貞 男
	菊 池 哲 也
	山 内 義 廣
	山 口 明 子
俳 句	吉 田 史 子
	白 濱 一 羊
	小 畑 柚 流
	小 林 輝 子
	名 久 井 清 流
川 柳	加 藤 眞 治 子
	北 田 祥 子
	富 岡 敦 子
	河 野 康 夫
	佐 藤 康
	小 原 金 吾
	熊 谷 岳 朗
	菅 原 千 瑛
鷹 觜 閱 雄	

【文芸部門文芸祭講師】

種 目	氏 名	備 考
小 説	立 川 ゆ か り	県民文芸作品集選者
	小 原 守 夫	〃
戯曲・シナリオ	嵯 峨 瞳	片目で立体視所属
文 芸 評 論	赤 崎 学	県民文芸作品集選者
	牛 崎 敏 哉	〃
	望 月 善 次	実行委員
随 筆	須 藤 宏 明	県民文芸作品集選者
	野 中 康 行	〃

14 第73回岩手芸術祭実行委員会委員一覧

区 分		氏 名	摘 要	
主 催 者		岡 部 春 美	岩手県文化スポーツ部 文化振興課総括課長	
		高 橋 嘉 行	岩手県文化振興事業団理事長	
		柴 田 和 子	【実行委員会会長】 岩手県芸術文化協会会長	
		鈴 木 孝 男	岩手県芸術文化協会副会長	
美術部門	日 本 画	西 川 善 有		
	洋 画	石 川 西 三	【副会長】	
舞 台 等 部 門	演 劇		大 森 健 一	
	伝 統 芸 能	能 楽	佐 藤 宏 明	
		吟 剣 詩 舞	金 沢 岳 貞	
	音 楽	合 唱	山 田 靖 了	【監事】
		ピ ア ノ	千 葉 浩 子	
		ギ タ ー	橋 本 博 行	
		管 弦 楽	寺 崎 巖	
	舞 踊	洋 舞	大 沼 ま ゆ み	
		日 舞	若 柳 吉 聖	
	演 芸	民 謡	藤 沢 清 美	
文 芸 部 門	児 童 文 学	千 葉 留 里 子	【監事】	
	川 柳	伊 藤 豊 志		
小・中学校美術展		加 藤 均	盛岡市立杜陵小学校副校長	
地 域		小 野 寺 誠 四 郎	【副会長】 一関市芸術文化協会会長	
		舘 林 克 典	二戸市芸術文化協会会長	

【美術部門実行委員会】

日本画	西川 善有	工 芸	阿部 裕之	デザイン	竹村 育貴
	花立 ゆかり		竹田 康夫		吉田 康則
洋 画	石川 西三	書 道	吉田 晨風	現代美術	小笠原 卓雄
	岩 渕 毅弘		熊谷 碓斗		浅 倉 伸
版 画	日山 登啓	写 真	久慈 省一郎	水墨画	鈴木 孝男
	鈴木 和雄		松本 尚子		北村 義美
彫 刻	清武 英司				
	曾根 達也				

【舞台等部門実行委員会】

演 劇	大森 健一	合 唱	山田 靖了	ギター	橋本 博行
	鬼沢 陽子		及川 尚樹		佐藤 勝政
能 楽	佐藤 宏明	声 楽	山口 剛	管弦楽	寺崎 巖
	菊池 昭二		丸岡 千奈美		田口 博子
邦 楽	福士 幸雄	弦 楽	菊池 昭子	洋 舞	小柳 玲子
	室岡 提子		渡辺 めぐみ		大沼 まゆみ
茶 道	鈴木 宗基	三 曲	伊藤 衡山	日 舞	若柳 吉聖
	平野 宗〇		菊池 捷山		水木 優紅
華 道	中村 素瑠	吹奏楽	安倍 一洋	民 謡	藤沢 清美
	小原 宏華		小山 智弘		三上 紀子
吟詠 詩舞道	立身 岳元	ピアノ	千葉 浩子	新舞踊	高橋 トシ
	金沢 岳貞		成瀬 ゆかり		鈴木 孝四郎

【文芸部門実行委員会】

戯 曲	昆 明 男	詩	松崎 みき子	俳 句	山火 律子
	倉持 裕幸		兒玉 智江		佐々木 充
文 芸 論	望月 善次	短 歌	菊池 唯子	川 柳	四日市 洋子
	牛崎 敏哉		山本 豊		熊谷 岳朗
随 筆	野中 康行		外館 克裕		伊藤 豊志
児 童 文 学	千葉 留里子		赤澤 篤司		
	佐々木 喜久子				
	加藤 典夫				

【実行委員会事務局】

事務局 長	山崎 隆	岩手県文化振興事業団 事務局長
事務局 次長	佐々木 仁志	岩手県芸術文化協会 事務局長
	平井 孝典	岩手県文化振興事業団総務部 総務課長
事務局 員	神長 二三代	岩手県文化スポーツ部文化振興課
	千葉 達也	岩手県文化振興事業団総務部総務課
	小林 弘卓	〃
	藤村 恵玉	〃
	鈴木 宣子	〃
	岩崎 桂子	岩手県芸術文化協会

15 第73回岩手芸術祭開催状況一覧

事業名		期 日	会 場	入場料金	入場者数
開幕式典・総合フェスティバル		10月3日(土)	岩手県民会館／大ホール	無料	1,501人
総合フェスティバルinいわい		令和3年1月24日(日)	一関文化センター	無料	1,155人
美術展	1期 写真／デザイン／ 現代美術	10月3日(土)～10月6日(火)	岩手県民会館／展示室	300円 高校生以下無料	4,222人
	2期 洋画／彫刻	10月15日(木)～10月18日(日)			
	3期 工芸／書道	10月22日(木)～10月25日(日)			
	4期 日本画／版画／ 水墨画	10月29日(木)～11月1日(日)			
巡回美術展	美術展入賞作品(77点)	11月11日(水)～11月15日(日)	奥州市文化会館	無料	1,547人
		11月17日(火)～11月19日(木)	一戸町コミュニティセンター		
		11月21日(土)～11月22日(日)	岩泉町民会館		
		11月28日(土)～11月29日(日)	久慈市文化会館		
		12月1日(火)～12月3日(木)	山田町中央公民館		
		12月16日(水)～12月17日(木)	宮古市民文化会館		
		令和3年1月22日(金)～24日(日)	一関文化センター		
美術展 小中	小・中学校 書写、絵画	12月4日(金)～12月6日(日)	岩手県民会館／展示室	無料	2,361人
巡回美術展 小中	小・中学校美術展 入賞作品(323点)	令和3年 1月30日(土)～1月31日(日)	宮古市民文化会館ほか	無料	654人
演劇	「ボーイズドレッシング」公演	11月27日(金)～29日(日)	風のスタジオ(盛岡市)	2,000円(1,500円) ほか	145人
	「劇団もしよこむ」公演	令和3年2月28日(日)	根浜レストハウス(釜石市)	無料	50人
	映像フェスティバル	11月8日(日)	もりおか町家物語館/浜藤ホール	1,200円(1,000円) ほか	115人
	「The雲人」公演	12月27日(日)	二戸市民文化会館／大ホール	500円 中学生以下無料	130人
	一関藤沢市民劇	令和3年2月28日(日)	縄文ホール	1,500円(1,000円) ほか	124人
	「ぶどう座」公演	中止			0人
伝統芸能	茶会	中止			0人
	吟詠剣詩舞道祭	中止			0人
	謡と仕舞の会	11月1日(日)	岩手県民会館／中ホール	無料	140人
	華道展	中止			0人
	邦楽のつどい	中止			0人

事業名		期 日	会 場	入場料金	入場者数
音 楽	ソロと室内楽の調べ	中止			0人
	ピアノ演奏会	10月24日(土)	岩手県民会館／中ホール	1,000円	200人
	三曲演奏会	10月25日(日)	岩手県民会館／大ホール	無料	210人
	声楽演奏会	中止			0人
	ギター音楽の夕べ	11月7日(土)	岩手県民会館／中ホール	700円(500円) 中学生以下300円	172人
	吹奏楽演奏会	中止			0人
	合唱祭	中止			0人
	管弦楽フェスティバル	11月28日(土)	田園ホール(矢巾町)	1,000円 高校生以下無料	69人
舞 踊	洋舞公演	10月18日(日)	岩手県民会館／大ホール	3,000円(2,500円) ほか	300人
	日本舞踊公演	中止			0人
演 芸	新舞踊発表会	中止			0人
	民謡まつり	11月1日(日)	岩手県民会館／大ホール	2,000円(1,500円) 高校生以下無料	687人
文 芸 祭	小説大会	10月18日(日)	岩手県民会館／会議室	無料	15人
	戯曲大会	令和3年1月16日(土)	盛岡劇場／タウンホール	500円	16人
	文芸評論大会	10月11日(月・祝)	盛岡市上田公民館	無料 懇親会1,000円	9人
	随筆大会	11月7日(土)	岩手県民会館／会議室	無料	17人
	児童文学大会	10月25日(日)	やはばーく大研修室(矢巾町)	無料	11人
	詩の大会	令和3年1月31日(日)	北上市生涯学習センター	一般無料	20人
	短歌大会	10月10日(土)	盛岡市勤労福祉会館	1,000円	92人
	俳句大会	10月17日(土)	盛岡市勤労福祉会館	1,500円	66人
川柳大会	10月24日(土)	アイーナ501号室	2,000円	52人	
県民文芸作品集 第51集刊行		小説/戯曲・シナリオ/文芸評論/随筆/児童文学/詩/短歌/俳句/川柳		12月12日刊行	438人
移 動 公 演	弦楽演奏会	12月5日(土)	一戸町コミュニティセンター	300円	74人
	(新舞踊公演)	中止			0人

※ 料金の()内は、
前売り料金

16 第73回岩手芸術祭市町村別応募作品数一覧

【美術展】

	市町村	日本画	洋画	版画	彫刻	工芸	書道	写真	デザイン	現代美術	水墨画	計
盛岡	盛岡市	8	44	17	5	18	74	64	32	22	43	327
	八幡平市					2					1	3
	岩手町							3	1	2	1	7
	雫石町		13		1		1	1		1		17
	葛巻町		1						4			5
	滝沢市		4	2			14	7	5	2	7	41
	紫波町		7	2	3	4	9	6	3		3	37
	矢巾町	6	10	2	1		3	1	6		1	30
	小計	14	79	23	10	24	101	86	47	27	56	467
中部	花巻市	1	4			8	6	7	2	2	3	33
	遠野市		8		1	5	2	2	1			19
	北上市	2	11	2	2	7	3	1	1	3		32
	西和賀町						1					1
	小計	3	23	2	3	20	12	10	4	5	3	85
県南	奥州市	2	7	3	2	7	6	12		2	1	42
	金ヶ崎町											0
	一関市	2	12	1	1	1	4	1			12	34
	平泉町	2				1	2	1				6
	小計	6	19	4	3	9	12	14	0	2	13	82
沿岸南部	大船渡市		2				2	4			3	11
	陸前高田市						2					2
	住田町							1				1
	釜石市		19	2		1	4	5	3		1	35
	大槌町							1	2			3
	小計	0	21	2	0	1	8	11	5	0	4	52
宮古	宮古市	2	21		1	1	14	7		3	1	50
	山田町	4	1				1	1				7
	岩泉町		1			2		1				4
	田野畑村		1				1					2
	小計	6	24	0	1	3	16	9	0	3	1	63
県北	久慈市		7					6				13
	洋野町						1					1
	野田村		1									1
	普代村											0
	二戸市		5				3	1				9
	一戸町		2				1				1	4
	軽米町		5				1					6
	九戸村		2							1		3
	小計	0	22	0	0	0	6	7	0	1	1	37
県外		4	1			3	3			2	13	
合計	29	192	32	17	60	158	137	56	38	80	799	

【県民文芸作品集】

		小説	戯曲	文芸評論	随筆	児童文学	詩	短歌	俳句	川柳	計
盛岡	盛岡市	9	5	3	18	1	17	30	46	12	141
	八幡平市								2		2
	岩手町	2			1	3	6	4	3	1	20
	雫石町	1				1				2	4
	葛巻町				1						1
	滝沢市						3	1	1		5
	紫波町	1	1		1				3	3	9
	矢巾町				1			1			2
	小計	13	6	3	22	5	26	36	55	18	184
中部	花巻市	2		1	11	1	7	6	17	7	52
	遠野市							1	1	2	4
	北上市	5			4		4	6	16	2	37
	西和賀町										0
	小計	7	0	1	15	1	11	13	34	11	93
県南	奥州市				4		1	10	18	4	37
	金ヶ崎町				1				3	1	5
	一関市						1	3	12	2	18
	平泉町				1		3		1		5
	小計	0	0	0	6	0	5	13	34	7	65
沿岸南部	大船渡市				2	1	3		2	1	9
	陸前高田市							1	4		5
	住田町				1		1			4	6
	釜石市								1		1
	大槌町							1			1
	小計	0	0	0	3	1	4	2	7	5	22
宮古	宮古市	1		1	5	1	2	3	10	5	28
	山田町							1			1
	岩泉町							1			1
	田野畑村										0
	小計	1	0	1	5	1	2	5	10	5	30
県北	久慈市				1	1	3	1	7	2	15
	洋野町								1	4	5
	野田村						3				3
	普代村										0
	二戸市						3			1	4
	一戸町								2		2
	軽米町										0
	九戸村										0
	小計	0	0	0	1	1	9	1	10	7	29
県外	1	1			1	10		1	1	15	
合計	22	7	5	52	10	67	70	151	54	438	

17 第73回岩手芸術祭実行委員会 収支予算書(最終予算)

1 収入の部

(単位:千円)

科 目	予算額	備 考
負 担 金	11,330	主催者、巡回展開催市町村
入 場 料 収 入	861	美術展入場料
諸 収 入	0	広告料、預金利息
繰 越 金	1,863	第72回会計より
合 計	14,054	

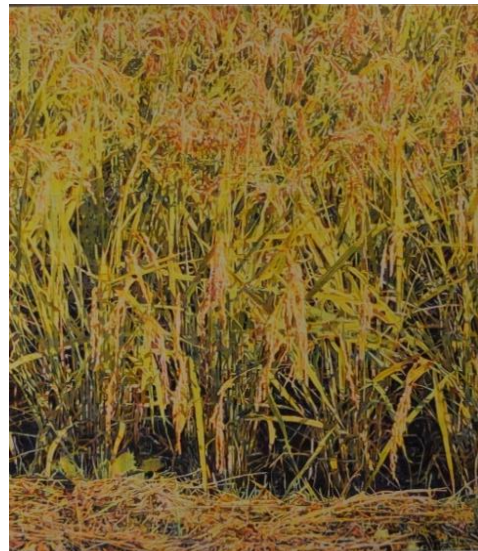
2 支出の部

科 目	予算額	備 考
実 行 委 員 会	1,282	功労者表彰、新聞広告、感染症対策
美 術 展	2,524	賞金、会場使用料、部門交付金
巡 回 美 術 展	2,199	写真パネル製作、作品輸送
小 中 学 校 美 術 展	380	小中学校美術展協会交付金
巡回小中学校美術展	40	〃
演 劇	569	部門交付金
伝 統 芸 能	292	〃
音 楽	631	〃
舞 踊	390	〃
演 芸	200	〃
移 動 公 演	228	〃
県民文芸作品集	1,040	選者謝金、賞金、作品集買上
文 芸 祭	486	部門交付金
予 備 費	3,793	
合 計	14,054	

18 芸術祭賞受賞作品【美術展】



日本画「よろい」 佐々木菜摘(盛岡市)



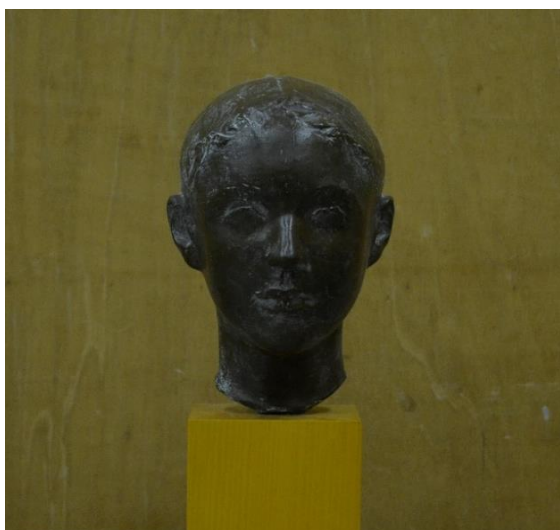
洋画「豊穰」 菊地仁美(北上市)



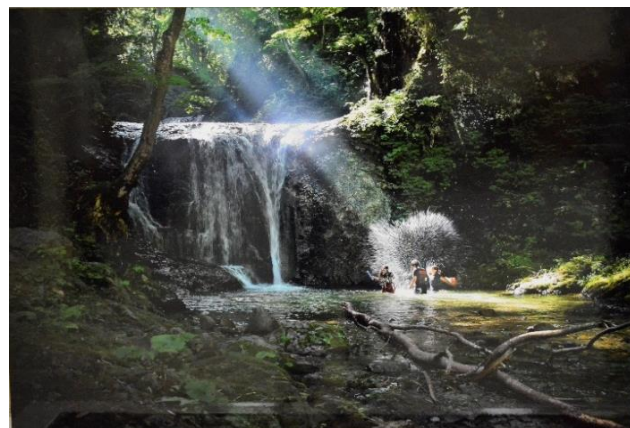
版画「滾」 鈴木和雄(矢巾町)



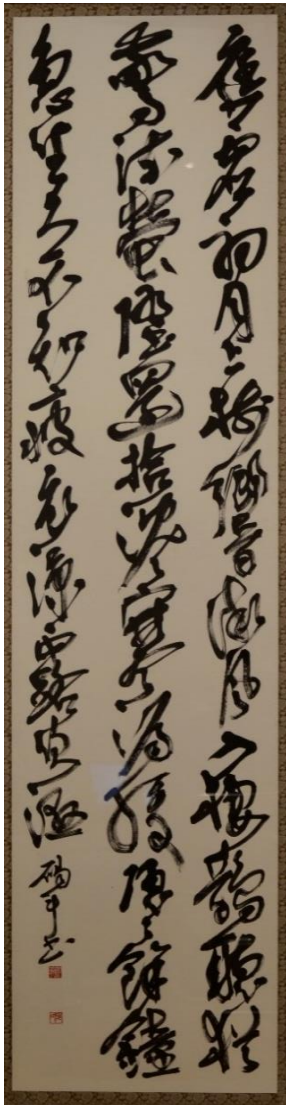
工芸「in the quiet world」 平野英史(盛岡市)



彫刻「女性頭像2018」 黒沼加津己(盛岡市)



写真「妖精たちの午後」 谷村あづさ(盛岡市)



書道「郭鈺詩」熊谷碓斗(盛岡市)



現代美術「antenna」木村麻希(宮古市)



水墨画「茅葺きの民家」千葉勝歳(盛岡市)



デザイン「百鬼屋行妖快乃国 猫又
百鬼屋行妖快乃国 鞍馬天狗」佐々木海太郎(盛岡市)

【小・中学校美術展】

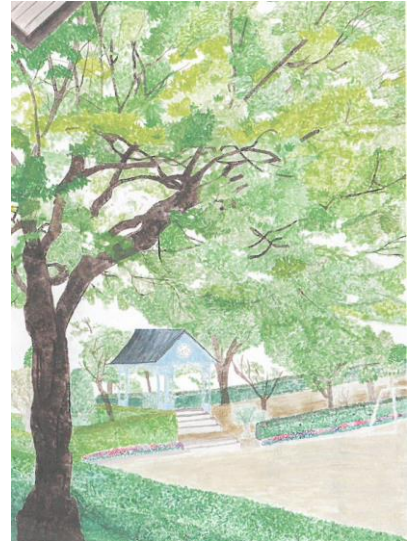
<小学校絵画>



「アサガオパーク」
盛岡市立山岸小学校1年
吉田 初乃

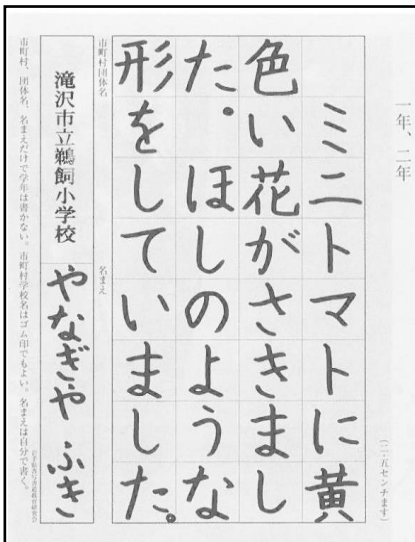


「灯がついたモチモチの木」
盛岡市立城北小学校3年
熊谷 理穂

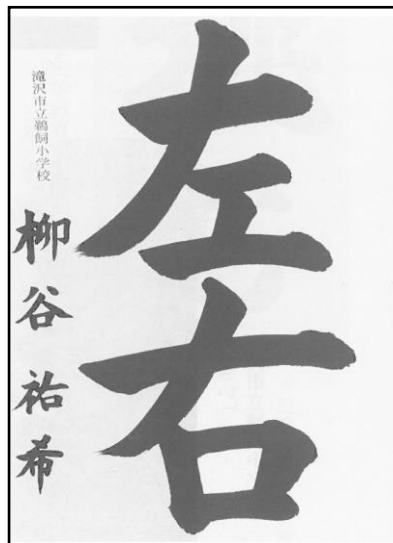


「オオモミジ」
盛岡市立桜城小学校6年
堀江 結

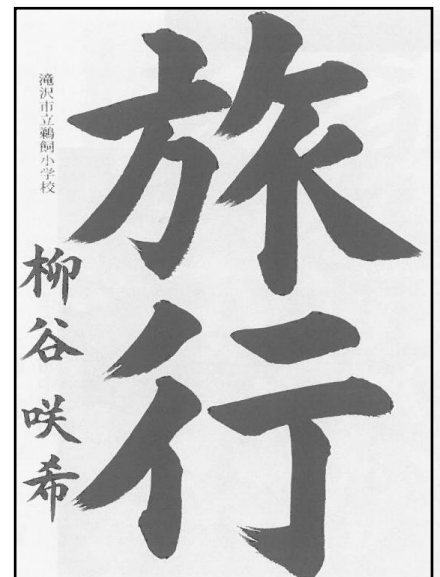
<小学校書写>



滝沢市立鵜飼小学校2年
柳谷 歩希



滝沢市立鵜飼小学校5年
柳谷 祐希



滝沢市立鵜飼小学校6年
柳谷 咲希

<中学校美術>



「日常の薄ら日」

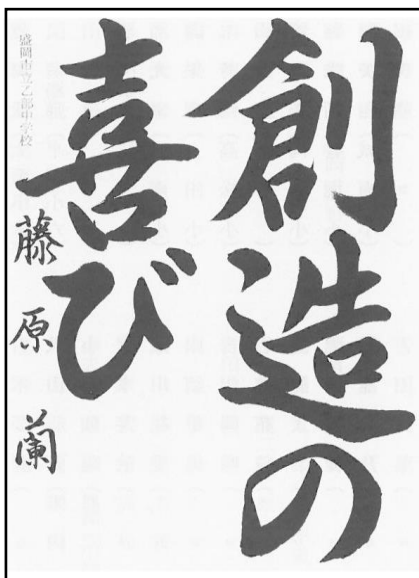
岩手大学教育学部附属中学校2年
大澤 帆奈美



「寺とあじさい」

盛岡市立城西中学校3年
菅原 花蓮

<中学校書写>



盛岡市立乙部中学校3年
藤原 蘭



岩手大学教育学部附属中学校3年
小原 日菜

19 ポスターデザイン

公募ポスター



総合ポスター



美術展ポスター



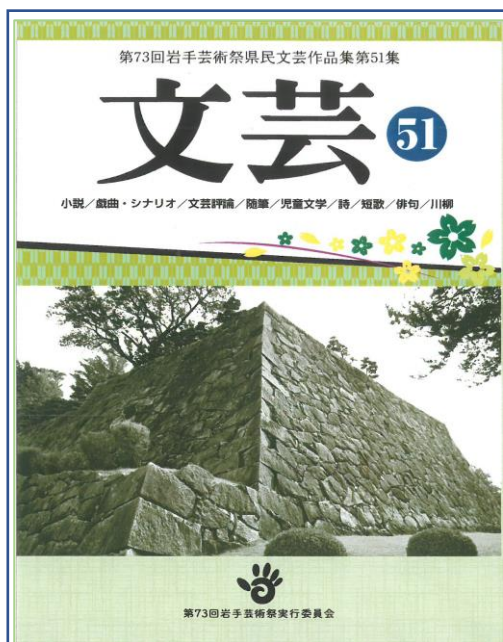
- 公募ポスター・総合ポスター

吉田 康則

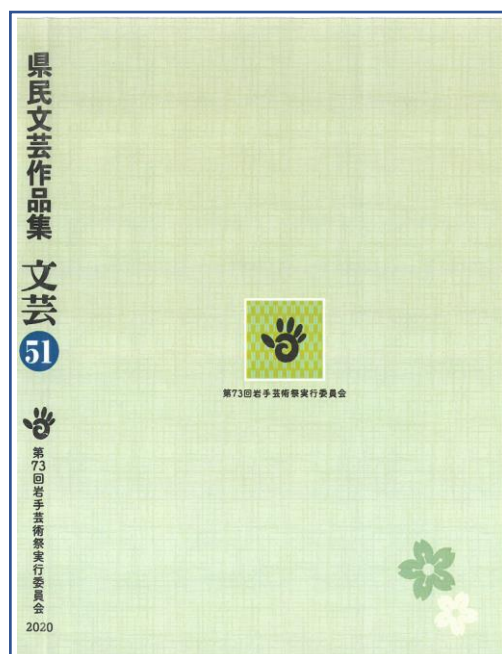
- 美術展ポスター

佐々木 海太郎

県民文芸作品集第51集 装丁デザイン



(表面)



(裏面)

令和2年度(2020年度)
第73回岩手芸術祭記録集

付 録



第73回岩手芸術祭実行委員会

第73回岩手芸術祭開催要綱

1 趣 旨

県民の優れた芸術文化活動の成果を発表し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、本県芸術文化の創造と発展に寄与するとともに、豊かな県民性の高揚に資する。

2 名 称 第73回岩手芸術祭

3 主 催 岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手日報社 IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手

4 後 援 盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社

5 運 営 第73回岩手芸術祭実行委員会

6 期 間 令和2年10月 ～ 令和3年2月

7 会 場 岩手県民会館ほか

8 開催行事

(1) 開幕式典

(2) 美術展（巡回美術展）

日本画、洋画、版画、彫刻、工芸、書道、写真、デザイン、現代美術、水墨画

(3) 小・中学校美術展（巡回小・中学校美術展）

小学校絵画、小学校書写、中学校美術、中学校書写

(4) 演 劇

(5) 伝統芸能

能楽、邦楽、茶道、華道、吟剣詩舞道

(6) 音 楽

合唱、声楽、弦楽、三曲、吹奏楽、ピアノ、ギター、管弦楽

(7) 舞 踊

日舞 洋舞

(8) 演 芸

民謡、新舞踊

(9) 移動公演

(10) 文 芸

ア 県民文芸作品集

小説、戯曲・シナリオ、文芸評論、随筆、児童文学、詩、短歌、俳句、川柳

イ 文芸祭

小説大会、戯曲大会、文芸評論大会、随筆大会、児童文学大会、詩の大会、短歌大会、俳句大会、川柳大会

9 参加作品

- (1) 美術及び文芸の作品並びに声楽及びピアノの演奏発表は、本県関係者の中から公募する。公募要項は、各部門の種目ごとに定める。
- (2) 公募以外の部門の発表、展示等については、各部門が企画し、実行委員会の決定を経て実施する。
- (3) 参加作品は、実施種目ごとに一般公開する。公募作品については、実施種目ごとに公開する範囲を定めるものとする。
- (4) 小・中学校美術展の作品の公募は、岩手県小中学校美術展協会が県内の小・中学校を通じて行うものとする。

10 表彰等

- (1) 特に優れた美術、小・中学校美術及び文芸の作品並びに演奏発表に対しては、審査のうえ、芸術祭賞（文芸祭賞）、優秀賞及び奨励賞を贈る。また、実施種目ごとに部門賞及び入選等を設けることができる。
- (2) 展示、発表作品の審査を行うため、公募部門ごとに審査会又は選者をおく。審査員及び選者は、第73回岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱する。

11 開催経費

経費は、主催する機関、団体の負担金及びその他の収入をもって充てる。

12 協賛参加

芸術祭に自主的に参加を希望する公演、展示等は、実行委員会会長の協賛参加承認を得て行うものとする。

13 国民文化祭への協賛参加

会期を考慮し、第35回国民文化祭・みやぎ2020へ協賛参加するものとする。

第73回岩手芸術祭実行委員会会則

(名称)

第1条 この会は、第73回岩手芸術祭実行委員会という。

(目的)

第2条 この会は、岩手芸術祭を円滑かつ総合的、効果的に運営することを目的とする。

(実行委員)

第3条 この会は、次に掲げる実行委員22人以内をもって組織する。

- (1) 岩手県文化スポーツ部文化振興課総括課長の職にある者
- (2) 公益財団法人岩手県文化振興事業団理事長の職にある者
- (3) 一般社団法人岩手県芸術文化協会の会長及び副会長の職にある者
- (4) 一般社団法人岩手県芸術文化協会会長の推薦に基づき岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱した者
- (5) 岩手県小・中学校美術展協会の会長又は事務局長の職にある者

(役員)

第4条 この会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1人
- (2) 副会長 2人
- (3) 監事 2人

2 会長は、一般社団法人岩手県芸術文化協会の会長又は会長の職務代理の職にある者をもって充てる。

3 副会長及び監事は、実行委員の中から会長が委嘱する。

4 役員は、相互にこれを兼ねることができない。

(役員の仕事)

第5条 会長は、この会を代表し、会務を総括する。

2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき、又は会長が欠けたときは、会長があらかじめ定める順序により職務を代理する。

3 監事は、この会の財務を監査する。

(実行委員の任期)

第6条 実行委員の任期は、委嘱を受けた日の属する年度の末日までとする。

(実行委員会会議)

第7条 この会の会議は、実行委員をもって構成し、岩手芸術祭の開催に係る次に掲げる事項について議決する。

- (1) 総合的な企画及び運営に関すること。
 - (2) 事業計画及び予算に関すること。
 - (3) 事業報告及び決算に関すること。
 - (4) その他この会の運営に関する重要な事項
- 2 会議は、会長が招集する。
 - 3 会議の議長は、会長がこれにあたる。
 - 4 会議は、実行委員会の過半数の出席をもって開会し、出席者の過半数をもって決する。

(部門実行委員会)

第8条 岩手芸術祭の各部門の円滑な運営を図るため、必要に応じ、部門実行委員会を置く。

2 部門実行委員会は、次に掲げる事項について協議し、各部門の運営にあたる。

- (1) 各部門の企画及び実施に関すること。
- (2) 各部門の予算及び決算に関すること。
- (3) 実行委員会から付託された事項に関すること。
- (4) その他各部門の運営に関し必要な事項

3 部門実行委員会委員は、会長が委嘱する。

4 部門実行委員会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

(事務局)

第9条 この会の事務を処理するため、公益財団法人岩手県文化振興事業団に事務局を置く。

2 一般社団法人岩手県芸術文化協会に事務局の分室を置く。

3 事務局には、次の職員を置く。

- (1) 事務局長 1人
- (2) 事務局次長 2人
- (3) 事務局員 若干名

4 事務局長は、公益財団法人岩手県文化振興事業団事務局長の職にある者をもって充て、その他の職員は会長が委嘱する。

(経費)

第10条 この会の運営に要する経費は、負担金その他の収入をもって支弁する。

(会計年度)

第11条 この会の会計年度は、実行委員会の設置の日に始まり、その年度の末日に終わる。

(補則)

第12条 この会則に定めるもののほか、この会の運営に関し必要な事項は、会長が別に定める。

附 則

この会則は、令和2年4月1日から施行する。

第73回岩手芸術祭美術部門実行委員会運営規程

(趣 旨)

第1条 この規程は、第73回岩手芸術祭実行委員会会則第8条第4項の規定に基づき、美術部門実行委員会（以下「委員会」という。）の運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(委 員)

第2条 委員会は、一般社団法人岩手県芸術文化協会の推薦に基づき、第73回岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱する20人以内の委員をもって構成する。

2 委員の任期は、委嘱を受けた日の属する年度の末日までとする。

(役 員)

第3条 委員会に委員長を置く。

2 委員長の選任は、委員の互選とする。

3 委員長は、委員会の業務を統括する。

(会 議)

第4条 委員会の会議は、必要に応じて、委員長が招集する。

2 会議の議長は、委員長がこれに当たる。

(事務局)

第5条 委員会の事務を処理するため、必要に応じて、公益財団法人岩手県文化振興事業団に事務局を置く。

2 事務局に次の職員を置く。

(1) 事務局長 1人

(2) 事務局次長 2人

(3) 事務局員 若干名

3 事務局の職員は、委員の中から委員長が指名する。

4 事務局長は、委員会の事務を掌理する。

5 事務局次長は、事務局長を補佐する。

6 事務局員は、事務局長の命を受けて、委員会の事務を処理する。

(補 則)

第6条 この規程に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員長が別に定める。

岩手芸術祭実行委員会感謝状贈呈に関する規程

(目 的)

第1条 この規程は、岩手芸術祭に関する功労について顕彰し、岩手芸術祭の発展に資することを目的とする。

(感謝状を贈呈される者)

第2条 感謝状を贈呈される者は、個人又は団体であって、次の各号の一に該当する者について行う。

- (1) 岩手芸術祭の運営に携わり、多年にわたり芸術祭の発展に貢献した者
- (2) 岩手芸術祭公募作品の審査員又は選者として、多年にわたり部門の発展に尽力した者
- (3) 岩手芸術祭の各部門の指導者として、永年にわたり後進の育成に尽力した者
- (4) その他特に表彰に値する功績があると認められた者

(方 法)

第3条 顕彰は感謝状を贈呈して行い、その氏名及び団体名並びに事績を顕彰録等によって公表する。

- 2 感謝状には、記念品を併せて贈ることができる。
- 3 故人の場合は、感謝状その他を遺族に贈り追彰する。

(実 施)

第4条 感謝状を贈呈される者は、岩手芸術祭実行委員会において承認されなければならない。

- 2 感謝状及び記念品は、岩手芸術祭実行委員会会長の名によって授与する。
- 3 その他この規程に関し必要な事項は、別に会長が定める。

附 則

この規程は、昭和55年5月21日から施行する。

附 則

この規程は、平成元年9月5日から施行する。

岩手芸術祭実行委員会感謝状贈呈に関する選考基準

1 趣旨

この基準は、岩手芸術祭実行委員会が感謝状を贈呈することについて、必要な事項を定めるものとする。

2 感謝状を贈呈される者

感謝状を贈呈される者は、次の各号に該当する者とする。

ただし、刑罰（道路交通法関係を含む。）を受けて2年を経過しない者は対象としない。

- (1) 岩手芸術祭の運営に携わり、概ね10年以上にわたって、岩手芸術祭の発展に貢献した者
- (2) 岩手芸術祭公募部門の審査員又は選者として、概ね10年以上にわたって部門の発展に尽力した者
- (3) 岩手芸術祭各部門の指導者として、概ね20年以上にわたって後進の育成に尽力した者で、概ね60歳を超えている者
- (4) その他岩手芸術祭の運営等に携わり多大な功績を示し、特に表彰に値すると認められる者

岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認事務手続要領

1 申請手続

主催者は、当該事業が実施される期日（ポスターその他の印刷物等に「岩手芸術祭協賛事業」の名義を印刷する場合は、その印刷日）の遅くとも1か月前までに、岩手芸術祭実行委員会会長（以下「会長」という。）あての申請書（様式1）を提出するものとする。

この申請書には、次の書類を添付しなければならない。

- (1) 事業の概要（事業の目的、実施日時、会場、事業内容、事故防止対策、公衆衛生対策、入場料、共催・後援団体名等）
- (2) 事業の収支予算書
- (3) 主催者が民間団体である場合は、定款、寄附行為、会則、役員名簿、会員数、活動状況等当該団体の性格及び内容を明らかにする書類

2 承認の基準

岩手芸術祭協賛事業の名義の使用を承認する基準は、次のとおりとする。

- (1) 主催者が、次のいずれかに該当するものであること。
 - ア 国又は地方公共団体（公社、公団を含む。）
 - イ 公益法人（宗教法人を除く。）
 - ウ 新聞、ラジオ、テレビ等の報道機関
 - エ 岩手芸術祭の趣旨に沿う事業を実施しようとする企業等
 - オ 芸術文化団体、実行委員会その他の公益的団体（芸術文化活動そのものを目的としたものに限る。）
 - カ その他上記に準ずると認められるもの。
- (2) 事業の内容が、次の各号に適合するものであること。
 - ア 事業の内容が岩手芸術祭の趣旨に沿うものであること。
 - イ 事業が、特定の範囲ではなく、一般の人に公開されるものであること。
 - ウ 事業の資金計画が十分なものであること。
 - エ 営利を目的としないものであること。
 - オ 事業の実施に当たっては、事故防止対策、公衆衛生対策等に十分な措置が講ぜられているものであること。

3 承認の手続

会長は、主催者からの申請書を受理した場合は、2の基準に基づいて審査し、結果を申請者に文書により通知するものとする。

4 主催者の責務

- (1) 事業の主催者及び関係者は、岩手芸術祭の趣旨に反する行為を行ってはならない。
- (2) 事業の主催者及び関係者は、2に掲げる基準の趣旨に反する行為を行ってはならない。
- (3) 事業の主催者は、所属する職員や関係者等が、前2号に該当する行為を行っている疑いがある場合は、会長に報告するとともに、必要な調査を行い、その事実が判明した場合は速やかに是正するとともに、その結果を会長に報告しなければならない。
- (4) 事業の主催者は、前号に係わり、会長から是正等についての指示があった場合は、これに従わなければならない

5 承認の取消

事業の主催者が4の(4)の指示に従わないときは、会長は、承認を取り消すこととする。

6 事業実施報告

事業の主催者は、事業の終了後、1か月以内に事業報告書（様式2）を会長に提出しなければならない。

(様式1)

年 月 日

第 回岩手芸術祭実行委員会
会長 様

〔申請者〕

団体名

代表者

住所

氏名

電話番号

第 回岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認について

下記事業について、第 回岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認を受けたいので、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 事業の名称
- 2 事業の目的
- 3 事業の主催者
- 4 事業の実施期間及び会場

(添付書類)

- 1 事業概要(内容、入場料、後援団体等)が明らかになる書類
- 2 事業の収支予算書
- 3 主催者が民間団体の場合は、会則、役員名簿、会員名簿、活動状況等団体の性格・内容が明らかになる書類
- 4 その他必要と認める書類

(様式2)

年 月 日

第 回岩手芸術祭実行委員会
会長 様

団体名

代表者

住所

氏名

電話番号

第 回岩手芸術祭協賛事業の名義の使用承認に係る事業報告について
年 月 日付け岩手芸術祭第 号で承認された事業が終了したので、関係書類
を添えて報告します。

記

- 1 事業の名称
- 2 事業の主催者
- 3 事業の実施期間
- 4 会場
- 5 出演者・出品者数
- 6 入場者数

(添付書類)

事業の収支決算書、後援者、プログラム・パンフレット、事業の内容を撮影した写真等を添付すること。

第73回岩手芸術祭美術展 公募要項

1 趣 旨

県民の優れた芸術文化活動の成果を発表し、広く県民に鑑賞の機会を提供することにより、本県芸術文化の創造と発展に寄与するとともに、豊かな県民性の高揚に資する。

2 主 催

岩手県、岩手県文化振興事業団、岩手県芸術文化協会、岩手日報社、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手

3 後 援

盛岡市、NHK盛岡放送局、盛岡タイムス社、胆江日日新聞社、岩手日日新聞社

4 事務局

岩手芸術祭実行委員会事務局((公財)岩手県文化振興事業団総務部内)
〒020-0023 盛岡市内丸13番1号 TEL019-654-2235
mail : geijyutsu73@iwate-bunshin.jp
※出品作品に関する問い合わせは、各部門事務局まで。

5 応募資格

岩手県内在住者、本籍が岩手県にある者、岩手県出身者または岩手県内学校の卒業生及び在学学生。(※洋画・彫刻部門は中学生以下を除く、書道部門は高校生以下を除く)

6 公募作品

公募作品は、日本画・洋画・版画・彫刻・工芸・書道・写真・デザイン・現代美術・水墨画の10部門とし、各部門の公募要項(裏面)による。**作品は未発表作品**とする。

7 審査、発表及び表彰

審査は、第73回岩手芸術祭実行委員会会長が委嘱した審査員により、9月13日(日)に搬入会場で行い、部門ごとに芸術祭賞(1点：賞金3万円)、優秀賞(1点：賞金2万円)、奨励賞(2点：賞金1万円)及び部門賞を贈る。

審査の結果は、本人あて通知する。
●表彰式 令和2年11月21日(土) サンセール盛岡(予定)

8 作品の受付、返還

作品は、所定の出品目録とともに所定の期日に搬入し、作品の裏側には所要の事項を記入した出品票を貼り付け、各部門の受付所に提出すること。

なお、出品物を受け付けたときは、受付証を交付するので、搬出のときの引換証とすること。

9 展 示

展示は、入賞・入選作品並びに招待作品とし、展示方法は実行委員会に一任のこと。(※彫刻は裏面記載のとおり)

展示会場、日時及び作業日は以下のとおりである。

- 会場 岩手県民会館展示室
- 時間 10時～17時(各期最終日は16時まで)

開催期	部 門	開催日	展示作業日
第1期	写真/デザイン/現代美術	10月3日(土)～10月6日(火)	10月2日(金)
第2期	洋画/彫刻	10月15日(木)～10月18日(日)	10月14日(水)
第3期	工芸/書道	10月22日(木)～10月25日(日)	10月21日(水)
第4期	日本画/版画/水墨画	10月29日(木)～11月1日(日)	10月28日(水)

10 搬 入

(1)直接搬入

部 門	搬入場所	搬入日時
日 本 画	岩手県民会館4階第1会議室	9月12日(土) 10時～16時
写 真	岩手県民会館4階第2会議室	
版画/デザイン/水墨画	岩手県民会館第1展示室	
洋画/工芸/書道/現代美術	岩手県民会館第2展示室	
彫 刻	岩手県民会館地下収蔵庫	

(2)輸送搬入

部 門	あて先	搬入日時
日本画/写真	〒020-0023 盛岡市内丸13-1 岩手県民会館4階会議室内 芸術祭美術展〇〇部門受付	9月12日(土)に限る ※輸送業者に配達日を指定すること。 (梱包表面に「美術展〇〇部門出品物」と大きく朱書きのこと)
洋画/版画/彫刻/工芸/デザイン/水墨画	〒020-0023 盛岡市内丸13-1 岩手県民会館展示室内 芸術祭美術展〇〇部門受付	

※書道・現代美術作品の輸送搬入は認めない。
※輸送搬入の場合の出品受付証、出品目録、出品料は9月8日(火)までに各部門事務局あて送ること。

11 搬 出

(1)直接搬出

部 門	搬出日時	搬出場所	注 意
写真/デザイン/現代美術	10月6日(火) 16時～17時	岩手県民会館 第1・2展示室	※搬出指定日時に搬出しない場合は、実行委員会の指定する業者により荷造り、送料とも着払いで返送する。
洋画/彫刻	10月18日(日) 16時～17時		
工芸/書道	10月25日(日) 16時～17時		
日本画/版画/水墨画	11月1日(日) 16時～17時		

(2)輸送搬出

部 門	搬出日時	注 意
写 真	10月6日(火) 16時～17時	※輸送による搬出を希望する場合は事前に部門事務局へ申出の上、指示に従うこと。
洋画/彫刻	10月18日(日) 16時～17時	
工 芸	10月25日(日) 16時～17時	
水 墨 画	11月1日(日) 16時～17時	

12 巡回美術展

岩手県民会館での本展終了後、各部門の入賞作品及び部門賞のうち部門推薦作品(最大4点)、計8点を県内市町において巡回展示する。

- 巡回期間 令和2年11月11日(水)～令和3年1月24日(日)
- 開催地 奥州市、一戸町、岩泉町、久慈市、山田町、花巻市、宮古市、一関市

13 その他

- 出品作品の不慮の災害による損害については、主催者はその責を負わない。
- 搬入・搬出及び荷造りの費用は、出品者の負担とする。
- 出品作品が本芸術祭の記録集、主催団体等が運営するインターネットのホームページ、報道及び広報などに掲載される場合があることを出品者があらかじめ容認の上、出品するものとして取り扱う。
- 報道機関の取材等に対しては、出品者の氏名、居住市町村名の情報提供及び作品の写真撮影を許可することがある。
- 別紙、出品目録及び出品票に記入された個人情報、審査結果の通知、展示目録等印刷物の作成、表彰式の開催案内など、岩手芸術祭美術展の運営業務の範囲内に限り利用するものであり、それ以外の目的には一切使用しない。
- 内容の変更や中止となる可能性があることに留意すること。

● 日本画	作品の規格	(1)作品は、すべて枠付として表装すること(ガラス抜き)を原則とし、軸装も許可する。 (2)100号以内とする。 (3)寸法は、枠付で測ること。 (4)作品はすぐ展示できるよう、金具・吊具を必ずつけること。
	出品点数・出品料 審査員 合評会 その他 事務局	1点3,000円、2点5,000円 西川善有(岩手県日本画協会会長) 片山道子(同理事) 11月1日(日)14時～ 会場にて審査員を囲んで実施する。 岩手県民会館第1会議室にて、作品搬入・受付を行う。 花立ゆかり 〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅5-92-5-204 TEL090-3587-1734
● 洋画	出品作品	出品者のオリジナル作品とする。 ※公募要項【6公募作品】の「未発表作品」の扱いについて、洋画部門では「審査を伴う公募展等に未発表の作品」とし、個展やグループ展など、審査のない展覧会で発表した作品は出品できる。
	作品の規格 出品点数・出品料 招待 審査員 合評会 事務局	額を含み各辺2m以内、突出は50cmまでとする。規格サイズの場合は、S120号(194×194cm)まで。F130号(194×162cm)は可。動植物、悪臭を発生する作品、腐敗する可能性のある作品を除く。作品保護のため、画面より突出した額(ガラスなし、アクリル板可)を付けること。作品裏には作品重量に十分耐え得る吊具、ひも、針金等を必ず付けること。 1人2点まで 1点の場合は4,000円(高校生は2,000円)、2点の場合は6,000円(高校生は3,000円) 本年度の洋画部門芸術祭賞受賞者は、次年度に限り招待する。出品は本人の意思に委ねる。 洋画部門理事 10月18日(日)14時～ 審査員と出品者による合評会を開催する。 岩淵毅弘 〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅9-1-1 県立不来方高等学校内 TEL019-697-8247
● 版画	出品作品	版種は自由。公募展未発表の自作の版表現されたもので、複数表現できるもの。(手彩色手法の作品は認めない)作品には題名とサインを必ず記入すること。
	作品の規格 出品点数・出品料 審査員 合評会 事務局	額装を含めて縦・横180cm以内の陳列に支障のないもの。 2点まで3,000円、3点まで5,000円 阿部陽子(版画家) 田村晴樹(画家) 11月1日(日)14時～ 審査員を囲んで実施する。 鈴木和雄 〒028-3601 紫波郡矢巾町高田9-40-15 TEL019-611-0575
● 彫刻	作品の規格	2m×2m×2m以内のオリジナル作品とし、会場汚損並びに観客に危害を及ぼす恐れのある作品及び仏像彫刻を除く。ただし、50kgを越す作品については、展示・運搬は出品者自身が行うものとする。
	出品点数・出品料 審査員 事務局	1点3,000円(高校生は1,000円)、1点増すごとに1,000円加算 藤島明範(彫刻家) 曾根達也 〒028-3615 紫波郡矢巾町南矢幅9-1-1 県立不来方高等学校内 TEL019-697-8247
● 工芸	出品作品	美術工芸並びに産業工芸等、いずれの性格のものでも構わないが、 創作性の高い未発表のもの であること。
	作品の規格 出品点数・出品料 審査員 講評会 事務局	[壁面] 180cm×150cm以内 [立体] 50cm×50cm×50cm以内 立方体でない場合はおおよその換算による大きさとする 重量50kg以内 1点4,000円、1点増すごとに1,000円加算 三田村有純(日展理事) 菊池房江(岩手工芸美術協会会長) 工芸セミナー(審査講評を兼ねながら) 9月13日(日)14時～15時 北ホテル2階会議室 竹田康夫 〒028-4134 盛岡市下田字陣場41-43 TEL019-683-1425
● 書道	作品の種別・規格	(1)種別 漢字、かな、篆刻・刻字、漢字かな交じり書(近代詩文書等)、前衛書 (2)仕上がり寸法 横1辺182cm(6尺)以内、縦1辺242cm(8尺)以内、面積1.48㎡(16平方尺)以内、重量15kg以内
	出品点数・出品料 審査員 鑑賞会 事務局	(3)仕立 額、枠装(帖、軸装は認めない) ガラス入りは認めない(アクリルは可) 1人1点4,500円 吉田晨風(岩手書道協会会長) 野田杏苑(同副会長) 堀内青巒(同副会長) 佐々木飛鴻(同理事) 佐竹松濤(同理事) 松戸亮濤(同理事) 丸若敬葉(同理事) 10月25日(日)14時～ 熊谷碓斗 〒020-0866 盛岡市本宮2-35-1 盛岡商業高等学校内 TEL019-636-1027
● 写真	出品作品・規格	(1)テーマ 自由。モノクロ、カラーいずれも可。未発表作品であること。 ※被写体が人物の場合、応募に際して必ず被写体本人の承諾を得ること。 (2)サイズ 単写真・組写真・連写真を問わず、いずれも全体の仕上がりは、外寸42cm×51cm以上外寸120cm×210cmまでとする。 (3)木製パネルに限る。 (4)そのまま展示できるよう裏面に紐を付けること。組写真・連写真は連結して搬入すること。 (※連結しない写真、蝶番の使用などはかの作品に傷を付けるようなもの、及びガラス入り額等破損の恐れのあるものは受け付けない)
	審査員 出品点数・出品料 その他 事務局	佐々木秀人(日本カメラ編集長) 審査:9月13日(日)10時～ 感染症対策のため今回に限り公開しない 1人2点まで 42cm×51cm以上長辺100cmまで3,000円、左の寸法を超える長辺210cmまで4,000円、高校生1,000円 受付は岩手県民会館第2会議室で行う。展示は原則として入選作以上とする。 応募等の詳細は岩手県写真連盟公式ホームページ(iwateken-shashin-renmei.jimdofree.com/)参照。 松本尚子 〒020-0015 盛岡市本町通1-16-1 TEL019-623-8281

デザイン

応募資格 一般・大学生・専門学校生・高校生
 出品作品 平面デザインに限る。(立体及び半立体は不可)社会的規範に反する作品は展示しない場合がある。作品はすぐに展示できるようパネル裏面に必ず吊り金具、ひも等を付けること。
 A部門 ポスター及びイラストレーション
 B部門 課題作品=(盛岡ロータリークラブ協賛)21世紀の地球環境を考える。(地球を取り巻く環境全般をテーマとする)「盛岡ロータリークラブ」を明記すること。マークは位置指定のみでも可。
 出品の体裁・規格 A部門 自由作品はB0判パネル(145.6cm×103cm)、B1判パネル(103cm×72.8cm)、B2判パネル(72.8cm×51.5cm)
 B部門 課題作品はB1判パネル(103cm×72.8cm)タテ位置に限る
 ※出品目録の種別欄には、出品部門(A部門またはB部門)を記入のこと。
 出品料 一般/1点3,000円(1点増すごとに1,000円加算)
 大学生・専門学校生・高校生/1点1,000円(1点増すごとに500円加算)
 審査員 本村健太(岩手大学人文社会科学部教授) 竹村育貴(岩手デザイナー協会会長)
 審査:9月13日(日)10時~(感染症対策のため今回に限り非公開)
 事務局 佐々木海太郎 〒020-0132 盛岡市西青山3-35-12 グラフィコ内 TEL019-647-3380

現代美術

出品作品 「現代美術」とは「ものを見ること(視覚認識)」や「社会をどう見つめるか」ということを常に問題にしている。平面、立体、映像、インスタレーション、音響を含むものなど、様式や技法にとらわれない表現を扱う。屋内と野外展示(緑の広場)の2会場で募集する。
 作品の規格 屋内展示 立体、インスタレーション=床面積15㎡以内×高さ4m以内、平面=10㎡以内
 野外展示 [会場 緑の広場]25㎡以内 ※必ず8月27日(木)までに事務局へ問い合わせの上、詳細を事前に確認すること。作品の規格が展示会会場管理者の基準に外れる場合は展示を許可できない場合もある。
 出品点数・出品料 1人2点まで 1点4,000円、2点5,000円(学生は1点3,000円、2点4,000円)
 審査員 佐藤時啓(東京藝術大学美術学部教授)
 事務局 浅倉伸 〒020-0862 盛岡市東仙北2-2-29 TEL090-7337-7232(直通)

水墨画

作品の規格 (1)作品寸法 F 8 (38×45.5)以上~和紙全紙を目途
 (2)表装 額装(アクリル使用のこと、ガラス不可)・軸装
 出品点数・出品料 1人1点4,000円
 出品申込 9月4日(金)までに事務局に申し込むこと
 審査員 鈴木孝男(岩手県水墨画協会会長) 岸本カヨ子(同協会副会長) 菊池一政(同協会副会長)
 阿部慶造(同協会副会長) 工藤晴男(同協会副会長)
 事務局 北村義美 〒020-0106 盛岡市東松園2-12-4 TEL019-661-8923

出品票(洋画・書道部門以外)

作品番号※	題名
氏名	TEL
住所	

●出品票は作品裏側に貼付 ●※作品番号は記入しないこと

出品票(洋画・書道部門以外)

作品番号※	題名
氏名	TEL
住所	

●出品票は作品裏側に貼付 ●※作品番号は記入しないこと

第73回 岩手芸術祭美術展

部門/出品目録

ふりがな 氏名 (号ほか) 男・女 年齢 歳 職業

住所 □□□-□□□□ TEL (自宅) (携帯)

作品番号(事務局記入)	題名	種別	大きさ
※			
※			

●搬出方法 ▼本人 ▼委託[業者名 TEL]

●県外の応募者は、岩手県との関わりをご記入ください。(例:出身地名、在籍した学校名など) 岩手県との関わり:

美術展出品受付証

出品料 金 円也

出品作品 点受付

様 令和2年9月 日

第73回岩手芸術祭美術部門実行委員会 部門

受付受領 (印)

作品番号(事務局記入) ※

※

洋画部門出品票

作品票 A	作品番号※	大きさ	作品票 B	作品番号※	大きさ
	題名			題名	
	氏名	TEL		氏名	TEL
	搬出方法 本人・委託(業者名)			搬出方法 本人・委託(業者名)	

●作品の裏側右上部に切り離さないでAのみ貼り付ける ●※作品番号は記入しない ●A・B票とも記入すること

洋画部門出品票

作品票 A	作品番号※	大きさ	作品票 B	作品番号※	大きさ
	題名			題名	
	氏名	TEL		氏名	TEL
	搬出方法 本人・委託(業者名)			搬出方法 本人・委託(業者名)	

●作品の裏側右上部に切り離さないでAのみ貼り付ける ●※作品番号は記入しない ●A・B票とも記入すること

書道部門出品票	方搬出	住所	氏名	作品番号※	書道部門出品票
	本人・委託(業者名)	TEL	号	題名	
				積文 別紙ハガキ大(タテ)を用意して全文を書く	
)	

●作品の裏側右上部に貼付 ●作品番号は記入しない

書道部門出品票	方搬出	住所	氏名	作品番号※	書道部門出品票
	本人・委託(業者名)	TEL	号	題名	
				積文 別紙ハガキ大(タテ)を用意して全文を書く	
)	

●作品の裏側右上部に貼付 ●作品番号は記入しない

書道部門出品票	方搬出	住所	氏名	作品番号※	書道部門出品票
	本人・委託(業者名)	TEL	号	題名	
				積文 別紙ハガキ大(タテ)を用意して全文を書く	
)	

●作品の裏側右上部に貼付 ●作品番号は記入しない



新型コロナウイルス感染症拡大防止等に伴い、中止や延期・縮小となる場合がございます。
●最新情報は“岩手芸術祭ホームページ”まで
【<http://www.iwate-bunshin.jp/artfes/>】
(公財)岩手県文化振興事業団ホームページ内

第73回(令和2年度)岩手芸術祭『県民文芸作品集』第51集公募要項

- 趣 旨
第73回岩手芸術祭の一環として、『県民文芸作品集』を刊行し、文芸活動の振興を図る。
- 主 催
岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手日報社
IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手
盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社
第73回岩手芸術祭実行委員会
- 応募資格
岩手県在住者(経験者も含む)、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方
県外の応募者については岩手県との関わりを記入すること。(かつて居住した岩手県の市町村名など)
公募種目

種 目	内 容	規 格	その他 (下記参照)	
			題 名	欄外
小説	1人1篇	原稿用紙30枚以内 点字は40枚以内	1行目	
戯曲・シナリオ	1人1篇 ①演劇一巻もの ②ラジオドラマ ③テレビドラマ	原稿用紙50枚程度 点字は40枚以内 ①～③を明示	1行目	(1)・(2)
文芸評論	1人1篇。研究的内容のものも可とする。	原稿用紙30枚以内 点字は40枚以内	1行目	
随 筆	1人1篇	原稿用紙4枚 点字は6枚	欄外	(1)・(3)
児童文学	1人1篇、フィクション、ノンフィクションを問わない。 少年少女詩、童謡の場合は3篇以内とする。	原稿用紙30枚以内 点字は40枚以内	1行目	(0)・(2)・(4)
詩	1人3篇以内とする。	1篇につき 原稿用紙3枚以内	1行目	(1)・(5)
短 歌	1人10首	原稿用紙1枚	欄外	(1)・(6)
俳 句	1人雑詠5句1組	ハガキ1枚又はメールにて応募のこと。 (句数が不足しないこと)	1行目	(7)
川 柳	1人雑詠7句		—	—

- 上記規格「原稿用紙」は400字詰め原稿用紙であること。縦書き、右上綴じとし、ページ番号を付すこと。行あけ等を明確にすること。
- 小説、戯曲、シナリオ、文芸評論、児童文学において、35字×35行程度に適宜割付けた場合は、400字詰め原稿用紙換算枚数を明記すること。
- 随筆の枚数は本文のみとする。題名は欄外に記入し、1行目から本文を書き始めること。題名、住所、氏名、連絡先等(「7 応募上の注意」参照)を記入した別紙をつけること。
- 児童文学については、1枚目には氏名を書かず、題名、本文から書き始めること。題名、住所、氏名、連絡先等(「7 応募上の注意」参照)を記入した別紙をつけること。
- 詩については、行あけを明確にし、欄外に1篇毎の通し番号(篇-頁:1-1、1-2、…2-1、2-2、…)を付すこと。住所、氏名、連絡先等(「7 応募上の注意」参照)を記入した別紙をつけること。
- 短歌については、欄外に題名を記入すること。住所、氏名、連絡先等(「7 応募上の注意」参照)は裏面に記載すること。
- 俳句については、雑詠5句を1組として、組の題名を記入すること。

※点字の場合、32マスの点字器を使用した場合、点字用紙片面打ち16行を1枚とする。他の点字器を使用する場合はこれに準ずること。
 (1)会話の部分は行を改め、「」を使用すること。
 (2)段落は3マス目から書きはじめ、点字用紙にページを打つこと。
 (3)隣返符号は用いないこと。
 (4)句点を入れること。
 (5)墨字訳に当たって使用を希望する漢字がある場合は、別紙に簡条書きにすること。

7 応募上の注意

- 未発表の創作作品であること。(公表されていたことが確認された場合には、入賞・入選を取り消すことがあります。ただし、戯曲・シナリオについては、上演済みの作品も可。)
- 原稿用紙(A4またはB4)には、ペン又はボールペンを使用し、鉛筆は使用しないこと。(ワープロも可)
- 投稿後の訂正は認めないので、推敲のうえ、かい書で清書して、完全原稿で応募すること。
- 応募作品は返却しないので、必要とする場合はコピーをとっておくこと。
- 応募作品の末尾(別紙可、短歌にあつては裏面)に、①住所、②氏名(筆名を使用する場合でも、本名を必ず記入すること)、③年齢、④性別、⑤電話番号及び(お持ちの方は)電子メールアドレスを記入すること。

- 応募締切 令和2年8月31日(月)当日消印有効(受付開始は7月1日(水)とする。)
- 応募方法(次の(1)または(2)のいずれか)

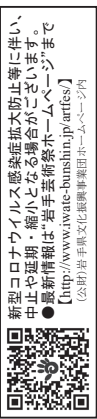
(1)電子メール:geijyutsu73@iwate-bunshin.jp (第73回岩手芸術祭実行委員会事務局)
 標題に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と明記し、応募作品はWord等のファイルにして添付のうえ送信すること。ただし、短歌・俳句・川柳の作品については、本文記載も可とする。
 メール送信後1週間以上、作品を受信した旨の返信がない場合は事務局まで電話で問い合わせること。

(2)郵送:〒020-0023 盛岡市内丸13番1号

岩手県民会館内 岩手芸術祭実行委員会『県民文芸作品集』係
 封筒、ハガキの表に「県民文芸作品集(作品種目)応募作品」と朱書きすること。

- | | | | | |
|---------|-------|-------|-------|-------|
| 10 選 者 | 立川ゆかり | 小原 守夫 | 東野 正 | 藤村 孝一 |
| 小説 | 昆 明男 | 落合 昭彦 | 清水 亞彦 | 藤井 永子 |
| 戯曲・シナリオ | 牛崎 敏哉 | 赤崎 学 | 折居 路子 | 小林 輝子 |
| 文芸評論 | 須藤 宏明 | 野中 康行 | 小畑 柚流 | 加藤眞治子 |
| 随 筆 | 千葉留里子 | 藤原 成子 | | |
| 児童文学 | 花石 邦夫 | 糠塚 玲 | | |
| 詩 | 赤澤 篤司 | 折居 路子 | | |
| 短 歌 | 白濱 一羊 | 小畑 柚流 | | |
| 俳 句 | 北田 祥子 | | | |
| 川 柳 | 柳清水広作 | あべ 和香 | 熊谷 岳朗 | |

- 入賞【全種目】芸術祭賞(1点・賞金3万円)、優秀賞(1点・賞金2万円)、奨励賞(2点・賞金各1万円)
 入選【種目による】佳作、選者賞など
- 審査結果
入賞、入選者には本人宛通知する。また、入賞者は、令和2年10月2日(金)に岩手県文化振興事業団のホームページ上で発表する。
- 表彰式 令和2年12月12日(土) サンセール盛岡(予定)
- 作品の発表
入賞作品は、『県民文芸作品集』に掲載する。なお、詩、短歌、俳句及び川柳の4種目については、入選作品も掲載する。
- 『県民文芸作品集』刊行予定日 令和2年12月12日(土)
- 個人情報取り扱い
応募者の個人情報、審査結果の公表を含む作品集刊行業務の範囲内に限り利用する。ただし、入賞、入選者については、報道機関等に氏名及び居住市町村名の情報提供を行う場合がある。
- 問合せ先
岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内) 〒020-0023 盛岡市内丸13番1号
 電話 019(654)2235 FAX 019(625)3595 mail:geijyutsu73@iwate-bunshin.jp



第73回(令和2年度)岩手芸術祭『文芸祭』開催要項

- 1 趣旨 第73回岩手芸術祭の一環として、『文芸祭』を開催し、文芸活動の振興を図る。
- 2 主催 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手日報社
IBC岩手放送 テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手
- 3 後援 岩手県教育委員会 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社
- 4 開催市町村 岩手県芸術祭実行委員会(※大会の内容に関する問い合わせは各大会事務局まで)
- 5 応募及び大会参加資格 県民文芸作品集応募作品の講師 立川ゆかり 小原 守夫
- 6 岩手県在住者、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方 第73回岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
[〒020-0023 盛岡市内丸13-1 電話 019(654)2235 FAX 019(625)3595]

(1)小説 種目毎の大会の内容

令和2年10月18日(日)午後1時30分～ ※10月12日までに申し込むこと。
岩手県民会館第2会議室(盛岡市内丸13-1)
県民文芸作品集応募作品の講師 立川ゆかり 小原 守夫
第73回岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
[〒020-0023 盛岡市内丸13-1 電話 019(654)2235 FAX 019(625)3595]

(2)戯曲 会場 費用 参加内容 事務局 運営委員

令和3年1月16日(土)午後1時30分～
盛岡劇場タウンホール(盛岡市松尾町3-1)
未定
詳細未定
高村 明彦[〒020-0051 盛岡市下太田沢田68-18 電話 090-1498-3591]
昆 明男 倉持 裕幸 高村 明彦

(3)文芸評論 会場 費用 参加内容 事務局 運営委員

令和2年10月11日(日)午後1時～5時(12時30分受付)
岩手大学農学部一号会議室(盛岡市上田3-18-8)
小講演と研究発表
小講演：「宮沢賢治とパンデミック」 講師 牛崎 敏哉
「宗教から見る啄木・賢治」 講師 望月 善次
研究発表：1～3人
★発表資格：次の1.又は2.のいずれかを満たす方
1.『県民文芸作品集(評論の部)』応募者
2.9月9日(水)までに事務局宛発表趣旨(A4判、1枚程度)と共に申し出た方
なお、希望者多数の場合は運営委員によって選考する。
無料
牛崎 敏哉[〒025-0001 花巻市天下田150-14 電話 090-2932-2628]
牛崎 敏哉 望月 善次
懇親会(参加費1,000円)

(4)随筆 会場 費用 参加内容 事務局 運営委員

令和2年11月7日(土)午後1時30分～ ※10月26日までに申し込むこと。
岩手県民会館第1会議室(盛岡市内丸13-1)
県民文芸作品集応募作品の講師 須藤 宏明 野中 康行
第73回岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)
[〒020-0023 盛岡市内丸13-1 電話 019(654)2235 FAX 019(625)3595]

(5)児童文学 会場 費用 参加内容 事務局 運営委員

令和2年10月25日(日)午後1時30分～午後3時30分
やはばーく[矢巾町活動交流センター]大研修室(矢巾町歌東1-12-1)
県民文芸作品集応募作品の選評と合評 講師 千葉留里子 藤原 成子
加藤 典夫[〒020-0883 盛岡市志家町12-1-609 電話 019(622)6304]
千葉留里子 加藤 典夫 佐々木喜久子

(6)詩 会場 費用 参加内容 事務局 運営委員

令和2年11月29日(日)午前10時～午後5時
なはんプラザ[花巻市定住交流センター]会議室1(花巻市大通1-2-21)
1,000円(当日受付、資料代ほか)
未発表作品3編以内、A4判原稿用紙使用、1編につき3枚以内で右綴じのこと。
ワープロ原稿はA4判に印字のこと。尚、原稿1編につきコピー原稿を3部添付すること。選者の講評をご希望の方は84円切手を貼った返信用定形封筒に本人宛先を記入の上、同封のこと。
花石 邦夫 糠塚 玲 東野 正
文芸祭賞、優秀賞、奨励賞、佳作ほか。
令和2年7月1日(水)より9月2日(水)《必着のこと》
岩手県詩人クラブ文芸祭「詩の大会」事務局
[〒029-2205 盛岡市高田町字山苗代58-8 松崎みき子 電話 0192(55)2628]
菊池 唯子 松崎みき子 兒玉 智江

(7)短歌 会場 費用 参加内容 事務局 運営委員

令和2年10月10日(土)午前10時～午後3時頃
盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)
出詠料1,000円(学生は無料)、当日会費1,000円(弁当代含む)
(後日、互選のための詠草集に同封の払込取扱票にて払い込むこと)
1首(未発表作品、はがきを使用のこと、学生は学校名を明記)
稲垣 貞男 菊池 哲也 山内 義廣 山口 明子 吉田 史子
優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈る。
令和2年8月31日(月)必着
赤澤 篤司
[〒020-0016 盛岡市名須川町11-8 電話・FAX 019(625)5874]
赤澤 篤司 外館 克裕 山本 豊

(8)俳句 会場 費用 参加内容 事務局 運営委員

令和2年10月17日(土)午前10時～午後4時
盛岡市勤労福祉会館(盛岡市紺屋町2-9)
1,500円
当季雜詠3句(投句締切 午前11時30分)
白濱 一羊 小畑 袖流 小林 輝子 名久井清流 加藤真治子 北田 祥子
優秀作品には、文芸祭賞、優秀賞、奨励賞の賞状に、それぞれ副賞を添えて贈る。
四日市洋子[〒028-3303 紫波郡紫波町高水寺字中田16-15 電話 019(672)3835]
山火 律子 佐々木 充 四日市洋子 工藤 幸子 和田 タケ 中村 紀子

(9)川柳 会場 費用 参加内容 事務局 運営委員

令和2年10月24日(土)午前9時30分受付開始
アイーナ[いわて県民情報交流センター]501号室(盛岡市盛岡駅西通1-7-1)
2,000円(記念品・昼食・発表誌)
「器」 富岡 敦子 選 「謎」 河野 康夫 選 「握り飯」 佐藤 康 選
「我慢」 小原 吾吾 選 「雑詠」 熊谷 岳朗 選
席題と選者(各題2句詠)
「器」 菅原 千瑛 選 「謎」 鷹野 閣雄 選
「我慢」 小原 吾吾 選 「雑詠」 鷹野 閣雄 選
文芸祭賞、優秀賞、奨励賞ほか
用紙自由。住所・氏名(雅号)・電話番号を明記のうえ下記事務局まで。
伊藤 豊志[〒027-0028 富古市神林5-25 電話 0193(62)1137]
岩手県川柳連盟

1 趣旨

2 主催

3 後援

4 開催市町村

5 応募及び大会参加資格

6 岩手県在住者、岩手県出身者及び本籍が岩手県にある方

(1)小説

種目毎の大会の内容

令和2年10月18日(日)午後1時30分～

※10月12日までに申し込むこと。

岩手県民会館第2会議室(盛岡市内丸13-1)

県民文芸作品集応募作品の講師

立川ゆかり 小原 守夫

第73回岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)

[〒020-0023 盛岡市内丸13-1 電話 019(654)2235 FAX 019(625)3595]

(2)戯曲

会場 費用 参加内容 事務局 運営委員

令和3年1月16日(土)午後1時30分～

盛岡劇場タウンホール(盛岡市松尾町3-1)

未定

詳細未定

高村 明彦[〒020-0051 盛岡市下太田沢田68-18 電話 090-1498-3591]

昆 明男 倉持 裕幸 高村 明彦

(3)文芸評論

会場 費用 参加内容 事務局 運営委員

令和2年10月11日(日)午後1時～5時(12時30分受付)

岩手大学農学部一号会議室(盛岡市上田3-18-8)

小講演と研究発表

小講演：「宮沢賢治とパンデミック」 講師 牛崎 敏哉

「宗教から見る啄木・賢治」 講師 望月 善次

研究発表：1～3人

★発表資格：次の1.又は2.のいずれかを満たす方

1.『県民文芸作品集(評論の部)』応募者

2.9月9日(水)までに事務局宛発表趣旨(A4判、1枚程度)と共に申し出た方

なお、希望者多数の場合は運営委員によって選考する。

無料

牛崎 敏哉[〒025-0001 花巻市天下田150-14 電話 090-2932-2628]

牛崎 敏哉 望月 善次

懇親会(参加費1,000円)

(4)随筆

会場 費用 参加内容 事務局 運営委員

令和2年11月7日(土)午後1時30分～

※10月26日までに申し込むこと。

岩手県民会館第1会議室(盛岡市内丸13-1)

県民文芸作品集応募作品の講師

須藤 宏明 野中 康行

第73回岩手芸術祭実行委員会事務局(岩手県文化振興事業団総務部内)

[〒020-0023 盛岡市内丸13-1 電話 019(654)2235 FAX 019(625)3595]

(5)児童文学

会場 費用 参加内容 事務局 運営委員

令和2年10月25日(日)午後1時30分～午後3時30分

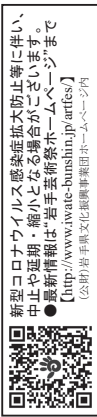
やはばーく[矢巾町活動交流センター]大研修室(矢巾町歌東1-12-1)

県民文芸作品集応募作品の選評と合評

講師 千葉留里子 藤原 成子

加藤 典夫[〒020-0883 盛岡市志家町12-1-609 電話 019(622)6304]

千葉留里子 加藤 典夫 佐々木喜久子



新型コロナウイルス感染症拡大防止等に伴い、中止や延期、縮小となる場合がございます。
最新情報は「岩手芸術祭ホームページ」まで
(http://www.iwate-bunshin.jp/artes/)
(印刷/岩手県文化振興事業団ホームページ内)



第73回岩手芸術祭
音楽部門ピアノ演奏会
出演者公募要項



1 趣 旨
県内に居住するピアノ学習者及び演奏家に、日ごろの活動成果を発表する機会を提供し、広く県民に披露することにより、ピアノ音楽の活性化を願い、地域の音楽文化の振興に寄与することを目的とする。

2 主 催
岩手県 岩手県文化振興事業団 岩手県芸術文化協会 岩手日報社 IBC岩手放送テレビ岩手 めんこいテレビ 岩手朝日テレビ エフエム岩手

3 後 援
盛岡市 NHK盛岡放送局 盛岡タイムス社 胆江日日新聞社 岩手日日新聞社

4 運 営
第73回岩手芸術祭実行委員会 一般社団法人岩手県ピアノ音楽協会

5 開催日時
令和2年10月24日(土)(開場14:30)開演15:00～

6 会 場
岩手県民会館中ホール

7 応募資格
ジュニア部門 県内在住もしくは、岩手県出身者の高校生以下の方。

一般部門 ジュニア部門と同じ条件で18歳以上(年齢制限なし)の方。

8 演奏内容 ※エントリ後の曲目の変更は認められません。
ジュニア部門 10分以内の任意の曲(ソロ・連弾)
一般部門 20分以内の任意の曲(ソロ・連弾)

9 参加料
ジュニア部門 出演料 8,000円、チケット負担金 3,000円(3枚分) 計11,000円
一般部門 出演料10,000円、チケット負担金 3,000円(3枚分) 計13,000円

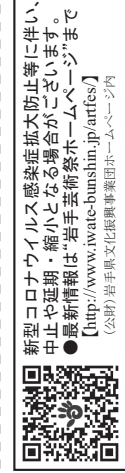
10 応募方法
所定の申込用紙(右記の出演申込書)に記入の上、申込書のみ9月9日(水)までに、下記申込先に郵送すること。(当日消印有効)
申込み受付後、本人に振込用紙を送付する。振込用紙到着後、1週間以内に参加料を振り込むこと。

●申込先 〒020-0117 盛岡市緑が丘2-2-11 一般社団法人岩手県ピアノ音楽協会
●事務局 電話・FAX 019-661-2927

11 その他
(1)連弾の出演料は、ワンステージとする。但し、チケットは、出演者人数分の負担とする。
(2)振込み後の返金は致しかねます。
(3)問い合わせ先は、上記申込先と同じ。 E-mail : iwatepref-piano@iaa.itkeeper.ne.jp
(4)出演申込書に記載された個人情報、ピアノ演奏会の運営業務の範囲内に限り利用するものであり、それ以外の目的には一切使用しない。

今年度のピアノ演奏会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、両部門とも演奏会形式での開催となります。
つきましては、ジュニア部門のコメント及び一般部門の審査はございませんのでご了承ください。

新型コロナウイルス感染症拡大防止等に併し、中止や延期・縮小となる場合がございます。
●最新情報は「岩手芸術祭ホームページ」まで
【<http://www.iwate-bunshin.jp/artists/>】
(公財)岩手県文化振興事業団ホームページ内



第73回岩手芸術祭ピアノ演奏会【ジュニア】出演申込書

演奏形態 (該当するものに○を付けてください)	1 ソロ	2 連弾
ふりがな		
氏名		
住所	(〒 -)	ⓑ() -
学校名	_____学年	
演奏曲目	※作品番号、調性を必ず明記して下さい。 演奏時間	
作曲者		
師事者	※当協会会員師事者以外は連絡先も明記して下さい。 ⓑ() -	

第73回岩手芸術祭ピアノ演奏会【一般】出演申込書

演奏形態 (該当するものに○を付けてください)	1 ソロ	2 連弾
ふりがな		
氏名		
住所	(〒 -)	ⓑ() -
演奏曲目	※作品番号、調性を必ず明記して下さい。 演奏時間	
作曲者		
プロフィール	(プログラムに掲載しますので、学校名または出身校、社会人の方は職業を簡潔にお書き下さい。)	

各小・中・義務教育学校長 様

岩 手 県 知 事 達 増 拓 也
 岩手県教育委員会教育長 佐藤 博
 第73回岩手芸術祭実行委員会会長 柴田 和子
 岩手県小・中学校美術展協会会長 畠 山 剛

第73回岩手芸術祭 小・中学校書写・美術作品募集について(お願い)

岩手芸術祭の一環として、本年度も小・中学校美術展(書写・美術作品)を開催し、書写・美術教育の振興に資するため、下記要項により作品を広く県内小・中学校より募集することになりました。つきましては募集要項をご覧の上、多数ご出品くださいますようお願い申し上げます。(小学校には義務教育学校前期課程、中学校には後期課程を含みます。)

第73回岩手芸術祭 小・中学校美術展作品募集要項

- 1 趣 旨 第73回岩手芸術祭の一環として、県内小・中学校児童、生徒の書写・美術を展示し、広く県民に児童、生徒の作品について鑑賞の機会を提供するとともに、本県小・中学校の書写・美術教育の振興をはかる。
- 2 主 催 岩手県、岩手県文化振興事業団、岩手県芸術文化協会、岩手日報社、IBC岩手放送、テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手
- 3 後 援 岩手県教育委員会、盛岡市、岩手県小学校長会、岩手県中学校長会、岩手県小学校教育研究会国語部会、岩手県書写書道教育研究協議会、岩手県小学校教育研究会図工部会、岩手県中学校教育研究会美術部会、NHK盛岡放送局、盛岡タイムス社、胆江日日新聞社、岩手日日新聞社
- 4 運 営 第73回岩手芸術祭実行委員会、岩手県小・中学校美術展協会
- 5 応募資格と出品点数 岩手県内の小・中学校に在籍している児童、生徒の作品で個人制作、各部門1人1点とする。
- 6 応募作品 ○令和2年度に制作した作品で、各部門の定める規定に合致するものとする。
○出品料は無料とする。
- 7 出品方法 ○書写の応募作品は返却しない。美術作品について返却を希望する学校は、出品目録に記入すること。作品は学校を経由して所定の出品票(書写は不要)、出品目録及び出品者名簿を必ず添付して出品すること。
各様式は、岩手県文化振興事業団ホームページ(<http://www.iwate-bunshin.jp/>)からダウンロードのこと。
- 8 受付期間 令和2年9月23日(水)から10月6日(火)まで。(10月6日(火)必着のこと。)
- 9 送 り 先

＜小学校絵画作品送付先＞	＜中学校美術作品送付先＞	＜小学校書写作品送付先＞	＜中学校書写作品送付先＞
〒020-0808 盛岡市肴町1-6 盛岡市立杜陵小学校内 加藤 均 宛 TEL 019-623-1338	〒020-0861 盛岡市仙北3-18-1 盛岡市立仙北中学校内 大坂 忍 宛 TEL 019-636-0573	〒020-0627 滝沢市狼久保795-1 滝沢市立滝沢東小学校内 鎌田 慎 宛 TEL 019-688-6602	〒020-0402 盛岡市黒川21-51 盛岡市立乙部中学校内 對馬 亜希子 宛 TEL 019-696-2611
★小・中学校美術展にかかわるお問い合わせは、杜陵小学校 副校長 加藤 均へお願いします。TEL 019-623-1338			

- 10 審 査 岩手県小・中学校美術展協会会長が委嘱した審査員により審査する。
- 11 入賞入選者の発表 入賞・入選者は審査終了後、出品学校長宛通知するほか、入賞者については岩手日報を通じて発表する。
- 12 褒 賞 すぐれた作品に対し、各部門ごとに芸術祭賞、優秀賞、奨励賞、その他の賞を贈る。
- 13 展 示 展示は入賞・入選作品のみとし、展示方法は岩手県小・中学校美術展協会へ一任する。
- 14 展示期間 令和2年12月4日(金)から12月6日(日)までの3日間とする。
(12月4日～5日は9時から17時まで、12月6日は9時から16時まで)
- 15 展示会場 盛岡市内丸 岩手県民会館
- 16 巡回展 第73回岩手芸術祭巡回小・中学校美術展開催要項にもとづき、県内各地で巡回展示する。(作品は学年別、書写、絵画作品300点程度)
巡回コースおよび日程については後日決定する。(巡回展の事務局は岩手県文化振興事業団総務部)
- 17 協 賛 第35回国民文化祭・みやざき2020協賛事業



小・中学美術作品応募について

1. 募集する作品

- 種目 絵画、版画、デザイン(平面)とする。
いずれか一人一点とする。
- 主題 自由
- 画材 クレヨン、パス、水彩などいずれでもよい。
- 用紙 原則として4つ切(36cm×54cm)とする。台紙に貼り付けないこと。但し、版画の用紙が4つ切より小さい場合には、作品を台紙に貼りつけ4つ切サイズにそろえること。

2. 出品方法

- 出品票・出品目録・出品者名簿を指定の様式に従い出品校で作成し、必ず添付すること。
- 出品票は作品裏面右下に天地を正しくして糊付けすること。
- 作品は丸めたり折ったりしないで応募すること。
- 県内小・中学校を通しての出品となるので、児童・生徒及び保護者から応募の申し出があった場合は、各学校にて対応すること。
- 例年三千点を超える応募があり、スムーズな受付事務のためにも必ず令和2年度版の出品票・出品目録・出品者名簿を使用し正確に記入、締切厳守のこと。

【出品票】

-----13cm-----		6cm
題名		
学校・学年		
氏名		

【美術出品目録】

郡 町 学校 TEL		市 村 担当者名 FAX			
作品返却について (いずれかに○印を)	返却を希望しません。				
	返却を希望します。(宅配便による着払い)	審査会後(選外作品)、巡回展終了後の3回に分けて 3月予定			
	返却を希望します。(宅配便による着払い)	まとめて1回で 3月予定			
	返却を希望します。(3回とも送付先学校へ向けて受け取り)				
年	種	絵画	版画	デザイン(平面)	計
1		点	点	点	点
2		点	点	点	点
6		点	点	点	点
	計	点	点	点	総計 点

作品返却についてお願い

- 盛岡管内の学校は、できるだけ速やかに、送付先学校へ向けての受取りに協力願います。令和2年度の審査会は10月12日(月)開催予定です。選外作品については、次の日の10月13日(火)の盛岡市教研図工美術部会での引取りにご協力願います。
- 個票は割られないように、確実に糊付けしてください。(毎年、行方不明作品が出るため)

【出品者名簿 兼 審査結果送付票】美術・書写共通

※部門毎・学年単位で作成のこと。

立 学校 TEL		住所 FAX			
部門【美術・書写(硬筆)・書写(半紙)・書写(条幅)】○で囲む 年 No.					
No.	氏名(漢字)	題名(美術部門のみ)	種	審査結果(審査会で○を付けます)	返
1				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(巡)・入選	
2				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(巡)・入選	
3				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(巡)・入選	
30				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(巡)・入選	
学年計				芸術祭賞・優秀賞・奨励賞・入選(巡)・入選 () () () () () ()	
点				作品と同時に送付する入選賞状 () 枚	

岩手芸術祭小・中学校美術展応募校 学校長様 担当者様
 今回のご応募、誠にありがとうございました。過日の審査会において入賞・入選作品が決定いたしましたのでお知らせいたします。上記審査結果欄に○印がない場合は選外です。作品が返却になりましたら、返却作品と名簿を照合いただき、記入ミスや枚数違いがないかご確認し、異状ありましたら事務局に連絡願います。
 令和2年10月 岩手県小・中学校美術展協会会長

小・中学書写作品応募について

1. 募集する作品

- 種目 小学校1・2年は硬筆、3年以上は毛筆半紙(国産半紙判)とする。
中学校は毛筆半紙か条幅のいずれか一人一点とする。
- 用紙 硬筆用紙は、岩手県書写書道研究会の書写コンクール硬筆用紙(B5判4ます×8ます:1ます2.5cm)とする。
毛筆半紙は国産半紙判、条幅は縦書きとする。
- 課題 右の通り
- 小学校の書体はかい書、中学校の書体はかい書または行書とする。
- 毛筆作品の氏名は墨書すること。(表装しない)
硬筆・毛筆とも、氏名をひらがなで書いた場合は欄外に漢字氏名を鉛筆で書くこと。学年は書かなくてもよい。
- 作品の左上部に校名(〇〇立〇〇学校)を記すこと。(ゴム印可)
- 作品の裏側右下に出品者名簿の番号を鉛筆で書くこと。
- 規格に合わない作品は審査しない。

2. 出品方法

- 出品目録(下記の通り)、出品者名簿(昨年同様に迅速な受付・結果処理のため、書写作品についても出品者名簿を添付すること。様式は美術作品のものと同じ)を指定の様式に従い出品校で作成し、必ず添付すること。

【書写出品目録】

郡 町 学校 TEL		市 村 担当者名 FAX			
年	種	硬筆	半紙	条幅	計
1		点	点	点	点
2		点	点	点	点
6		点	点	点	点
	計	点	点	点	総計 点

- 県内小・中学校を通しての出品となるので、児童・生徒及び保護者から応募の申し出があった場合は、各学校にて対応すること。
- 例年三千点を超える応募があり、スムーズな受付事務のためにも必ず令和2年度版の出品目録・出品者名簿を使用し正確に記入、締切厳守のこと。

小1年硬筆課題

前村団体名	を	た	ラ		一年硬筆	
	し	。	イ	ど		
	て	大	オ	う		
	いき	ン	ぶ			
	名まえ	ま	な	を		つ
		し	あ	み		え
		た	く	ま		ん
		。	び	し		で

小2年硬筆課題

前村団体名	形	た	色		二年硬筆	
	を	。	い	み		
	し	ほ	花	ニ		
	て	し	が	ト		
	名まえ	い	の	き		マ
		ま	よ	き		ト
		し	う	ま		に
		た	な	し		黄

小3～中3年毛筆課題

	半紙課題	半紙課題	条幅課題
小3	元	中1	地球 将来の夢
小4	左右	中2	初志 大志を抱く
小5	読む	中3	創造の喜び 限界に挑む
小6	旅行		